

「富士・東部地域保健医療行動計画」に基づく **平成30年度取組状況**

30年度実績

所属名	富士・東部保健福祉事務所	担当部署	衛生課、地域保健課、健康支援課
-----	--------------	------	-----------------

項目	内容	平成30年度の取組実績	重点評価
在宅医療の推進	1 在宅での医療を選択できるしくみづくり（退院支援、日常の療養支援、急変時の対応、看取り含む）	<ul style="list-style-type: none"> 在宅医療広域連携会議を開催し、急変時対応及び看取りに関する対策について検討（2回） 自宅看取り実態調査を実施 在宅医療推進のための4項目ごとに課題と対策を整理 医療と介護の連携に係る打ち合わせを開催し、入退院時連携ルールの策定に向けた検討を実施（4回） 	◎
	2 人材育成	<ul style="list-style-type: none"> 県看護協会主催の「医療機関等と訪問看護ステーションの連携に関する研修会」への企画支援の実施 富士河口湖町在宅医療推進協議会に出席し、協議会の取組目標や評価について意見交換を実施 県・介護保険事業担当課長会議を開催し、市町村の取り組み状況の把握及び情報の提供を実施（2回） 市町村が実施する地域ケア会議等が、多職種の連携強化に繋がる内容となるための運営支援を実施 	●
	3 在宅医療に対する普及啓発	<ul style="list-style-type: none"> 介護保険事業担当課長会議を開催し、市町村の取り組み状況の把握及び情報の提供を実施（2回） 市町村が実施する地域ケア会議や在宅医療・介護連携推進委員会等への出席を通し、住民への効果的な普及啓発に向けて助言等を実施 富士河口湖町在宅医療推進協会に出席し、住民向け在宅医療に関するフォーラムの企画支援を実施 	●
（住所地） 自殺対策の推進	1 普及啓発	メンタルヘルス講座の開催（4回）	●
	2 地域の取り組み体制の強化	<ul style="list-style-type: none"> ゲートキーパー指導者養成研修会の開催（都留市）（H30.8.29） 地域セーフティネット連絡会議の開催（H30.10.15） *市町村策定の自殺対策推進計画の円滑な実施に向け支援が必要 	
	3 連携体制の強化		
	4 人材育成・相談体制の強化		
（ハイリスク地） 自殺対策の推進	1 イメージアップ対策		<ul style="list-style-type: none"> 健やか樹海ウオークの開催（H30.8.19） いのちをつなぐ青木ヶ原ネットワーク会議の開催（H30.8.10） いのちをつなぐボランティア新規養成講座の開催（H30.11.14） *発見地別自殺者数では、青木ヶ原樹海町村のH21年90人がH29年には40と減少しているが、保護の件数は50人前後で推移しており、引き続きイメージアップ対策が必要。また、養成したボランティアのフォローアップも必要
	2 水際対策		
	3 連携体制の強化		
	4 見守体制の強化		
（発症予防・重症化予防） 生活習慣病対策の推進	1 早期発見、早期治療の推進及び重症化予防	<ul style="list-style-type: none"> 地域・職域保健連携推進協議会（2回）、ワーキンググループ（1回）を開催し、以下の取組について検討・共有を図った。 <ol style="list-style-type: none"> 被扶養者向け受診勧奨パンフレット見直し、配布 健康メッセージ検討及びメッセージ掲載依頼 働き盛り世代生活習慣実態調査について検討、実施 生活習慣病予防講習会を実施（2回） 市町村成人保健・健康づくり担当者会議を開催し、特定健診受診率向上や健康教室のあり方等情報交換を実施。 市町村がん担当者会議の開催 	◎
	2 発症予防（望ましい生活習慣）の推進		
	3 関係機関との連携体制強化及び協働した取組の推進		
の強化 感染症対策	1 新型インフルエンザ等対策（重大感染症対策）	<ul style="list-style-type: none"> 作業部会を開催し、新型インフルエンザ等の重大感染症発生に備え関係機関が連携して役割を担っていく必要性を確認 	◎
	2 東京オリンピック・パラリンピック競技大会（東京大会）に向けての感染症対策	「2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けての感染症のリスク評価～自治体向けの手順書～」（国立感染症研究所感染症疫学センター）を参考に地域住民、訪日客等における感染症のリスク評価を実施	
体制整備 災害時の医療	1 災害医療体制の現状把握と共有	<ul style="list-style-type: none"> 大規模災害情報伝達訓練を実施（H30.10.30） 情報伝達訓練時に、EMISの入力が正確にできていない機関が散見されるなどの課題を確認 大月市の医療救護体制にかかる訓練を企画支援 初期に対応しなくてはならない業務を整理し具体的な行動を示したアクションカードの内容を更新 	◎
	2 情報伝達・共有手段の普及		
	3 市町村レベルの医療救護体制の整備		
	4 保健所の保健・医療調整機能の強化		
確保対策 食品の安全	1 食中毒防止対策	<ul style="list-style-type: none"> 飲食を提供するイベントの相談（245）件、・出前講座（5回306名）、・食品衛生責任者実務講習会（11回1,063名）、・その他講習会（17回833名）を通じ食中毒対策及び食品衛生管理について助言・指導を実施 一般飲食店を対象にHACCP導入推進のためのチラシを作成 一斉取締、食品衛生月間キャンペーンや食品衛生責任者実務講習会時などの機会で作成し配布し、HACCP普及を啓発 	●
	2 HACCP方式の衛生管理の普及		

※ 重点評価欄には実施機関として重点的、または特色ある取組の場合は「◎」、通常業務の中での取組には「●」を記して下さい。

所属名	富士・東部保健福祉事務所	担当部署	衛生課、地域保健課、健康支援課
-----	--------------	------	-----------------

項目	内容	平成31年度の具体的取組	重点評価
在宅医療の推進	1 在宅での医療を選択できるしくみづくり（退院支援、日常の療養支援、急変時の対応、看取り含む）	・在宅医療広域連携会議を開催し、在宅医療推進のための4項目ごとの具体的な取組方法について検討を実施 ・医療と介護の連携に係る打ち合わせを開催し、入退院時連携ルールの策定、運用を実施	◎
	2 人材育成	・介護保険事業担当課長会議を開催し、市町村の取り組み状況の把握及び情報提供を実施 ・市町村が実施する地域ケア会議等の運営支援を実施 ・入退院時連携ルールを策定後、効果的な運用のための方法・方策について、市町村その他関係者と共に協議を実施 ・市町村が実施する在宅医療推進に関する協議会へ出席し、協議会の取組を支援	●
	3 在宅医療に対する普及啓発	・介護保険事業担当課長会議を開催し、市町村の取組状況の把握及び情報提供を実施 ・市町村が実施する地域ケア会議や在宅医療・介護連携推進委員会、在宅医療推進協議会等へ出席し、住民への効果的な普及啓発に向けた助言等の支援	●
（住所地） 自殺対策の推進	1 普及啓発	・地元商工会と連携した小規模事業者対象の出張メンタルヘルス講座を開催し、心の健康に関する普及啓発を実施	●
	2 地域の取り組み体制の強化	・市町村単独でのゲートキーパー養成研修会開催に向けた支援の実施 ・各市町村が自殺対策推進計画に掲げる事業の円滑な実施に向けた協力	
	3 連携体制の強化		
	4 人材育成・相談体制の強化		
（ハイリスク地） 自殺対策の推進	1 イメージアップ対策		・樹海のイメージアップを図るため、県内外に情報発信し「健やか樹海ウォーク」を開催（8月）
	2 水際対策		
	3 連携体制の強化		
	4 見守体制の強化		
（発症予防） 生活習慣病対策の推進	1 早期発見、早期治療の推進及び重症化予防	・地域・職域保健連携推進協議会及びワーキンググループを開催し、次の取組を行う。 ①被扶養者向け受診勧奨パンフレット配布継続 ②保健指導活用を促すための対策検討 ③健康メッセージ掲載依頼先拡大 ④生活習慣実態調査協力事業所への健康づくりに関する助言 ⑤受動喫煙対策の情報提供 ・住民等への生活習慣病予防講習会の継続実施 ・市町村成人保健・健康づくり担当者会議を開催し、保健事業の運営、重症化予防等の取組に関する情報交換の実施	◎
	2 発症予防（望ましい生活習慣）の推進		
	3 関係機関との連携体制強化及び協働した取組の推進		
感染症対策の強化	1 新型インフルエンザ等対策（重大感染症対策）	・作業部会を開催し、外来・入院の医療提供体制について、各関係機関の意見を集約した上で、富士・東部地区のルール策定	◎
	2 東京オリンピック・パラリンピック競技大会（東京大会）に向けての感染症対策	・平成30年度に実施したリスク評価した情報を普及啓発等を実施	
災害時の医療体制整備	1 災害医療体制の現状把握と共有	・全県同日で開催される大規模災害情報伝達訓練等を通じて、各関係機関がEMIS等により災害時の効果的な情報の収集、提供体制を整備	◎
	2 情報伝達・共有手段の普及		
	3 市町村レベルの医療救護体制の整備	・市町村の訓練を支援し、医療救護所の設置、運営のあり方の検証や、保健・医療提供における体制整備に関する検討を実施	
	4 保健所の保健・医療調整機能の強化	・自所属で作成したアクションカードを検証し、災害発生時に参集した職員が適切な初動体制がとれるよう、内容の見直しを実施	
食品の安全確保対策	1 食中毒防止対策	・昨年度の管内における食中毒は6件発生し、うち2件はノロウイルスが原因で野外イベントに起因するものもあった。改めて食中毒予防の3原則を徹底し、食品取扱者の健康管理、使い捨て手袋の適正使用等について監視指導や講習会での啓発活動の実施	●
	2 HACCP方式の衛生管理の普及	・チラシを活用した呼びかけのほか、食品衛生協会との協働による普及促進を図るため、食品衛生指導員がHACCPを理解して巡回指導ができるよう研修会の内容を充実	

※ 重点評価欄には実施機関として重点的、または特色ある取組の場合は「◎」、通常業務の中での取組には「●」を記して下さい。

「富士・東部地域保健医療行動計画」に基づく **平成30年度取組状況**

30年度実績

		所属名	富士吉田市	担当部署	健康長寿課
項目	内容	平成30年度の取組実績			重点評価
在宅医療の推進	1 在宅での医療を選択できるしくみづくり（退院支援、日常の療養支援、急変時の対応、看取り含む）	<ul style="list-style-type: none"> 在宅医療広域連携会議にて、急変時対応及び看取りに関する対策について検討（2回） 在宅医療推進のための4項目ごとに課題と対策を整理 医療と介護の連携に係る打ち合わせ会において入退院時連携ルールの策定に向けた検討を実施（4回） 在宅医療・介護連携推進委員会、専門部会（各1回/年） 			●
	2 人材育成	<ul style="list-style-type: none"> 地域ケア会議等における事例検討 医療と介護の連携における打ち合わせ 事業者説明会（1回/年） ケアマネ研修会（5回/年） 主任ケアマネ研修会 ランチ会議の開催（6回/年） 高齢者介護担当会議（1回/週） 			●
	3 在宅医療に対する普及啓発	<ul style="list-style-type: none"> 住民には広報やパンフレットでの周知の実施 地域ケア会議やケアマネ研修、その他研修等でケアマネや多職種への普及啓発の実施。 			●
（住所地） 自殺対策の推進	1 普及啓発	<ul style="list-style-type: none"> インターネット（こころの体温計）を活用し、自身の心の健康状態を確認できるきっかけ実施。（5757回） 市民の集まる機会（5箇所）にストレスチェック実施（計685人） 新成人に対して自殺予防に関するリーフレット配布（550部） 			●
	2 地域の取り組み体制の強化				
	3 連携体制の強化				
	4 人材育成・相談体制の強化				
（ハイリスク地） 自殺対策の推進	1 イメージアップ対策				
	2 水際対策				
	3 連携体制の強化				
	4 見守体制の強化				
（発症予防・重症化予防） 生活習慣病対策の推進	1 早期発見、早期治療の推進及び重症化予防	<ul style="list-style-type: none"> 特定健診、がん検診の実施、対象に応じた受診勧奨 要医療・要精検者に医療機関への受診勧奨 健診結果に応じた結果報告会の実施 特定保健指導該当者に保健指導を実施 			●
	2 発症予防（望ましい生活習慣）の推進	<ul style="list-style-type: none"> 楽しみながら健康づくりに取り組める健康ポイントラリー、健康にチャンス&チェンジ、運動教室の実施 広報・フェイスブック等に発症予防情報を掲載 市内各地区で食生活改善推進員による「未病レシピ」の普及を図る 			
	3 関係機関との連携体制強化及び協働した取組の推進	<ul style="list-style-type: none"> 地域・職域保健連携推進協議会への参加 協会けんぽと連携し、被扶養者への受診勧奨 糖尿病重症化予防について、富士吉田医師会と連携した取り組みを実施 昭和大学と連携し、運動普及推進員養成講座を開催 			
感染症対策の強化	1 新型インフルエンザ等対策（重大感染症対策）	富士吉田市業務継続計画（BCP）及び住民接種ガイドライン策定に向け関係機関との協議及び検討			●
	2 東京オリンピック・パラリンピック競技大会（東京大会）に向けての感染症対策	予防接種勧奨、感染症に対する普及・啓発			
災害時体制の整備 医療	1 災害医療体制の現状把握と共有	10/30の大規模災害情報伝達訓練に参加し、EMIS入力操作訓練を実施した。入力や内容について職員間で確認しておくことが必要である。			●
	2 情報伝達・共有手段の普及				
	3 市町村レベルの医療救護体制の整備	9/2市で実施した防災訓練において各避難所の救護所の早期設置及び避難所内での要救護者の状況把握の訓練を実施した。また、避難所における健康管理や衛生管理に関する内容の充実強化のための検討と訓練を実施した。			
	4 保健所の保健・医療調整機能の強化				
保安食 対全品 策確の	1 食中毒防止対策	イベント時の啓発及び衛生面についての説明			●
	2 HACCP方式の衛生管理の普及	特になし			

※ 重点評価欄には実施機関として重点的、または特色ある取組の場合は「◎」、通常業務の中での取組には「●」を記して下さい。

31年度計画

		所属名	富士吉田市	担当部署	健康長寿課
項目	内容	平成31年度の具体的取組			重点評価
在宅医療の推進	1 在宅での医療を選択できるしくみづくり（退院支援、日常の療養支援、急変時の対応、看取り含む）	<ul style="list-style-type: none"> ・在宅医療広域連携会議にて4項目ごとの具体的な取り組み方法の検討 ・医療と介護の連携に係る打ち合わせ会にて、入退院時の連携ルールの策定、運用の検討 ・在宅医療・介護連携推進委員会、専門部会（各1回/年） 			●
	2 人材育成	<ul style="list-style-type: none"> ・地域ケア会議等における事例検討 ・医療と介護の連携における打ち合わせ ・事業者説明会（1回/年） ・ケアマネ研修会（5回/年） ・主任ケアマネ研修会 ・ランチ会議の開催（6回/年） ・高齢者介護担当会議（1回/週） 			●
	3 在宅医療に対する普及啓発	<ul style="list-style-type: none"> ・住民には広報やパンフレットでの周知を図っていく。 ・地域ケア会議やケアマネ研修、その他研修等でケアマネや多職種への普及啓発を図る。 			●
（住所地） 自殺対策の推進	1 普及啓発	<ul style="list-style-type: none"> ・インターネット（こころの体温計）を活用し、自分の心の健康状態を確認する機会を設ける ・成人式という区切りを迎える新成人に対して自殺予防に関するリーフレットを作成配布 ・市民の集まる場でのストレスチェック実施 			●
	2 地域の取り組み体制の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・自殺対策計画の庁内での進捗状況確認を実施。 ・ゲートキーパー養成講座の開催 			
	3 連携体制の強化				
	4 人材育成・相談体制の強化				
（ハイリスキ地） 自殺対策の推進	1 イメージアップ対策				
	2 水際対策				
	3 連携体制の強化				
	4 見守体制の強化				
（発症予防） 生活習慣病対策の推進	1 早期発見、早期治療の推進及び重症化予防	<ul style="list-style-type: none"> ・特定健診、がん検診の実施、対象に応じた受診勧奨 ・要医療・要精検者に医療機関への受診勧奨 ・健診結果に応じた結果報告会の実施 ・特定保健指導該当者に保健指導を実施 			●
	2 発症予防（望ましい生活習慣）の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・楽しみながら健康づくりに取り組める健康ポイントラリー、運動教室の実施 ・広報・フェイスブック等に発症予防情報を掲載 ・市内各地区で食生活改善推進員による「未病レシピ」の普及を図る 			
	3 関係機関との連携体制強化及び協働した取組の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・地域・職域保健連携推進協議会への参加 ・協会けんぽと連携し、被扶養者への受診勧奨 ・糖尿病重症化予防について、富士吉田医師会と連携した取り組みを実施 			
感染症対策の強化	1 新型インフルエンザ等対策（重大感染症対策）	富士吉田市業務継続計画（BCP）及び住民接種ガイドライン策定に向け関係機関との協議及び検討			●
	2 東京オリンピック・パラリンピック競技大会（東京大会）に向けての感染症対策	予防接種勧奨、感染症に対する普及・啓発			
災害体制時整の備医療	1 災害医療体制の現状把握と共有	大規模災害情報伝達訓練に参加し、情報伝達方法の確認を行う。医療救護に関わる職員間での情報の共有の仕方について検討する。			●
	2 情報伝達・共有手段の普及				
	3 市町村レベルの医療救護体制の整備	防災訓練にて各避難所の医療救護所設置訓練を充実させる。			●
	4 保健所の保健・医療調整機能の強化				
保安食対全品策確の	1 食中毒防止対策	イベント時での啓発及び衛生面についての説明			●
	2 HACCP方式の衛生管理の普及	特になし			

※ 重点評価欄には実施機関として重点的、または特色ある取組の場合は「◎」、通常業務の中での取組には「●」を記して下さい。

「富士・東部地域保健医療行動計画」に基づく 平成30年度取組状況

30年度実績

		所属名	都留市	担当部署	健康子育て課
項目	内容	平成30年度の取組実績			重点評価
在宅医療の推進	1 在宅での医療を選択できるしくみづくり（退院支援、日常の療養支援、急変時の対応、看取り含む）	介護部門で、在宅医療・介護連携支援センターを設置し、相談・医療・介護関係者の合同研修会や関係者会議を実施。			◎
	2 人材育成	介護部門（長寿介護課）における、ケアマネジャー等多職種連携会議の定期的開催。			●
	3 在宅医療に対する普及啓発	医療・介護関係者合同研修会 冊子「地域生活支援マップ」にて、市民へ情報提供。			◎
（住所地） 自殺対策の推進	1 普及啓発	○都留市自殺対策推進計画の策定 ○特定健診時、心の健康についてのパンフレット配布。			◎
	2 地域の取り組み体制の強化	○産婦健康診査及び乳児全戸訪問時の産後うつ質問票の実施により、ハイリスク者においては、メンタル子育て相談へつなげる。（H30延べ21人）			
	3 連携体制の強化	○全市展開におけるセーフコミュニティの取り組みの一環として、「心の健康安全対策委員会」を立ち上げ、都留市における課題を抽出している。			
	4 人材育成・相談体制の強化				
（ハイリス） 自殺対策の推進	1 イメージアップ対策				
	2 水際対策				
	3 連携体制の強化				
	4 見守体制の強化				
（発症予防） 生活習慣病対策の推進	1 早期発見、早期治療の推進及び重症化予防	○特定健診及び各種がん検診の同日実施 特定健診受診率H29年度法定報告47.9%（微増） 各種がん検診（胃、大、肺、乳、子）平均受診率H29年度14.6%（国からの母数の変更有） 精密検査（胃、大、肺、乳、子）平均受診率69.4%			◎
	2 発症予防（望ましい生活習慣）の推進	○健康づくり事業（いきいき動かし隊・健康ポイント手帳）の開催。			
	3 関係機関との連携体制強化及び協働した取組の推進	○CKD予防教室の開催			
感染症対策の強化	1 新型インフルエンザ等対策（重大感染症対策）	○新型インフルエンザ等対策行動計画（平成27年3月）			
	2 東京オリンピック・パラリンピック競技大会（東京大会）に向けての感染症対策				
災害時の医療体制整備	1 災害医療体制の現状把握と共有	○情報伝達訓練への参加（担当者だけでなく、他の職員も参加体験する）			●
	2 情報伝達・共有手段の普及				
	3 市町村レベルの医療救護体制の整備	○医療救護所の実際を見学（大月市） ○市防災訓練における医療救護所の設置訓練の実施			
	4 保健所の保健・医療調整機能の強化				
食品の安全確保対策	1 食中毒防止対策	食生活改善推進員対象に、食中毒防止対策について、講習を実施。			●
	2 HACCP方式の衛生管理の普及				

※ 重点評価欄には実施機関として重点的、または特色ある取組の場合は「◎」、通常業務の中での取組には「●」を記して下さい。

		所属名	都留市	担当部署	健康子育て課
項目	内容	平成31年度の具体的取組			重点評価
在宅医療の推進	1 在宅での医療を選択できるしくみづくり（退院支援、日常の療養支援、急変時の対応、看取り含む）	在宅医療・介護連携支援センターの運営。 相談・医療・介護関係者の合同研修会や関係者会議の実施。			◎
	2 人材育成	介護部門（長寿介護課）における、ケアマネジャー等多職種連携会議の定期的開催。			●
	3 在宅医療に対する普及啓発	医療・介護関係者合同研修会 冊子「エンディングノート」の活用を、市民へ普及する。			◎
（住所地） 自殺対策の推進	1 普及啓発	○都留市自殺対策推進計画に基づいたとりくみ ○特定健診時、心の健康についての花の種いりメッセージ配布。			◎
	2 地域の取り組み体制の強化	○メンタル子育て相談の実施			
	3 連携体制の強化	○全市展開におけるセーフコミュニティの取り組みの一環である、「心の健康安全対策委員会」において、具体的活動を推進する。			
	4 人材育成・相談体制の強化				
（ハイリスク） 自殺対策の推進	1 イメージアップ対策				
	2 水際対策				
	3 連携体制の強化				
	4 見守体制の強化				
（発症予防） 生活習慣病対策の推進	1 早期発見、早期治療の推進及び重症化予防	○特定健診及び各種がん検診の同日実施 ソーシャルマーケティングの手法を活用した受診勧奨の実施。			◎
	2 発症予防（望ましい生活習慣）の推進	精密検査個別勧奨の実施。			
	3 関係機関との連携体制強化及び協働した取組の推進	○健康づくり事業（いきいき動かし隊・健康ポイント手帳）の開催。 ○CKD予防教室の開催			
感染症対策の強化	1 新型インフルエンザ等対策（重大感染症対策）				
	2 東京オリンピック・パラリンピック競技大会（東京大会）に向けての感染症対策				
災害時の医療体制整備	1 災害医療体制の現状把握と共有	○情報伝達訓練への参加			●
	2 情報伝達・共有手段の普及				
	3 市町村レベルの医療救護体制の整備	○医療救護所の実際 ○市防災訓練における医療救護所の設置訓練の実施			
	4 保健所の保健・医療調整機能の強化				
食品の安全確保対策	1 食中毒防止対策	食生活改善推進員対象に、食中毒防止対策について、講習を実施。			●
	2 HACCP方式の衛生管理の普及				

※ 重点評価欄には実施機関として重点的、または特色ある取組の場合は「◎」、通常業務の中での取組には「●」を記して下さい。

「富士・東部地域保健医療行動計画」に基づく 平成30年度取組状況

30年度実績

		所属名	大月市	担当部署	保健介護課
項目	内容	平成30年度の取組実績			重点評価
在宅医療の推進	1 在宅での医療を選択できるしくみづくり（退院支援、日常の療養支援、急変時の対応、看取り含む）	○広域的に他市町村と協力して、入退院ルール作りをしている。 ○本人が自分の医療介護の情報を管理して支援者に伝えられる情報共有ツールの試行をワーキンググループを中心に行っている。			◎
	2 人材育成	○地域包括ケア推進会議の医療と介護のワーキンググループの中で、多職種が集まり、在宅医療について連携を図っている。			◎
	3 在宅医療に対する普及啓発	○医療・福祉・介護、民生委員など各種関係団体等を対象に、1月に「医療と介護が連携して支える仕組みづくり」と題して、研修会を開催し、在宅医療に対する普及啓発を図った。			◎
自殺対策の推進 (住所地)	1 普及啓発	○健診結果説明会や健康教育、軽トラ市などの場で、リーフレットや啓発グッズを配布し普及啓発に努めた。また、若年層対策として新20歳の成人式にて啓発グッズの配布を行った。			◎
	2 地域の取り組み体制の強化	○保健活動推進員を対象に、こころの健康づくり講演会を開催した。			
	3 連携体制の強化	○自殺対策推進計画策定のため、庁内会議を2回、健康づくり推進協議会を1回開催し、自殺に対する理解と協力を得て、計画を策定した。平成31年4月に庁議にて報告を行った。			
	4 人材育成・相談体制の強化	○介護支援専門員を対象としたゲートキーパー養成研修会を開催した。また、ひきこもり相談への対応なども行った。 ○「こころの健康相談統一ダイヤル」等のポスターの掲示を行った。			
自殺対策の推進 (ハイリスク地)	1 イメージアップ対策	○自殺対策推進計画策定にあたり、本市において、ハイリスク地対策が必要であることを確認した。（自殺対策の推進（住所地）の一部として実施）			
	2 水際対策				
	3 連携体制の強化				
	4 見守体制の強化				
生活習慣病対策の推進 (発症予防・重症化予防)	1 早期発見、早期治療の推進及び重症化予防	○国保担当と連携して、生活習慣病予防健診や各種がん検診を4月～12月に実施し、生活習慣病予防などに努めた。			◎
	2 発症予防（望ましい生活習慣）の推進	○広報や「健康のしおり」、ホームページなどでの周知、市内のコンビニや商工会などへのPRチラシの掲示を行い、受診勧奨を行った。 ○健診未受診者に対して、個別のハガキや電話、2か所の地区に訪問を行うなど受診勧奨を行い、受診率の向上を図った。			
	3 関係機関との連携体制強化及び協働した取組の推進	○大月市立中央病院の医師、理学療法士、管理栄養士の協力を得て、健診結果説明会を16回開催した。糖尿病の予防や運動、栄養など生活習慣を見直す良い機会となった。また、特定保健指導対象者に対する個別指導などを行った。 ○健診の結果から、糖尿病予防教室を開催し、調理実習や運動を行い、生活習慣を振り返り、悪化予防に努めた。 ○会議や研修会等に参加し、他市町村の取り組み状況等を確認し、情報を共有することができた。 ○運動を始めるきっかけづくりとして、ウォーキング教室を開催した。 ○保健活動推進委員会と協力して、減塩に取り組んだ。 ○広報に、健康情報を掲載し、情報の提供を行った。 《課題》健診の実施期間が長期に渡っており、健診後の精密検査のフォローや保健指導など、適切な時期に実施できていない状況にある。			
感染症対策の強化	1 新型インフルエンザ等対策（重大感染症対策）	国が行う新型インフルエンザ等対策訓練「連絡訓練」に参加し、発生時の連絡方法や対応、計画などを確認した。			●
	2 東京オリンピック・パラリンピック競技大会（東京大会）に向けての感染症対策				
災害体制時整備の医療	1 災害医療体制の現状把握と共有	県が行う大規模災害情報伝達訓練に参加し、医師会等との衛星携帯電話による伝達や、EMISやクロノロジーの入力訓練を行い、情報の収集や提供体制について学んだ。			◎
	2 情報伝達・共有手段の普及				
	3 市町村レベルの医療救護体制の整備	○災害時等に備え、医薬品や物品などの確認を行った。 ○11月には、医療救護所設置訓練、現地対策本部設置訓練、通信訓練、トリアージ訓練を富士東部保健福祉事務所、北都留医師会、大月市薬剤師会、消防署など各種関係団体と連携して実施し、災害時に即応できる体制づくりを行った。			
	4 保健所の保健・医療調整機能の強化				
全食確品保の対安	1 食中毒防止対策	健康教育の中で、食中毒予防についての情報提供を行った。また、保健活動推進員養成講習会において、富士・東部保健福祉事務所の衛生課の職員より、食中毒予防及び手洗いのポイントの講義を行い対策について学んだ。			●
	2 HACCP方式の衛生管理の普及				

※ 重点評価欄には実施機関として重点的、または特色ある取組の場合は「◎」、通常業務の中での取組には「●」を記して下さい。

		所属名	大月市	担当部署	保健介護課
項目	内容	平成31年度の具体的取組			重点評価
在宅医療の推進	1 在宅での医療を選択できるしくみづくり (退院支援、日常の療養支援、急変時の対応、看取り含む)	○他市町村と協力して、入退院ルールを完成させる。 ○30年度に試行している情報共有ツールの検証を行うと共にさらに普及するように推進をしていく。			◎
	2 人材育成	○地域包括ケア推進会議と、医療と介護のワーキンググループを継続して開催し、連携を図っていく。			◎
	3 在宅医療に対する普及啓発	○医師会等関係機関と連携した研修会の開催等を検討していく。			◎
(住所地) 自殺対策の推進	1 普及啓発	○「大月市自殺防止対策推進計画」に基づき事業を推進する。 ・健診結果説明会や健康教育、軽トラ市、成人式などの場で、リーフレットや啓発グッズの配布を行う ・こころの健康づくり講演会の開催(年1回) ・ゲートキーパー養成研修会の開催 ・健康づくり推進協議会等での進捗状況等の確認 ・こころの健康相談やひきこもり支援を継続して行う ・相談窓口等のポスターの掲示等周知を行う。			◎
	2 地域の取り組み体制の強化				
	3 連携体制の強化				
	4 人材育成・相談体制の強化				
(ハイリスク地) 自殺対策の推進	1 イメージアップ対策				
	2 水際対策				
	3 連携体制の強化				
	4 見守体制の強化				
(発症予防・重症化予防) 生活習慣病対策の推進	1 早期発見、早期治療の推進及び重症化予防	○生活習慣病予防健診や各種がん検診を4月～12月に実施し、生活習慣病予防に努める。 ○広報や「健康のしおり」、ホームページ、市内のコンビニや商工会などへのPRチラシの掲示を依頼するなど、早期の受診勧奨を行う。 ○健診未受診者に対して、個別のハガキや電話、訪問などを行い、早期の受診勧奨を行う。 ○大月市立中央病院の医師、理学療法士、管理栄養士の協力を得て、健診結果説明会を開催する。 ○糖尿病予防教室を開催し、調理実習や運動を行い、生活習慣を振り返り、悪化予防に努める。 ○がん担当者会議や研修会等に参加し、他市町村の状況などを確認し、事業の中に取り入れていく。			◎
	2 発症予防(望ましい生活習慣)の推進				
	3 関係機関との連携体制強化及び協働した取組の推進				
感染症対策の強化	1 新型インフルエンザ等対策(重大感染症対策)	○国の訓練に併せた新型インフルエンザ等対策訓練「連絡訓練」等を実施すると共に、本市の計画の確認等を行う			●
	2 東京オリンピック・パラリンピック競技大会(東京大会)に向けての感染症対策				
災害体制時整備の医療	1 災害医療体制の現状把握と共有	○県が行う大規模災害情報伝達訓練に参加し、医師会等との衛星携帯電話による伝達や、EMISやククロロジーの入力訓練等を行う。			◎
	2 情報伝達・共有手段の普及				
	3 市町村レベルの医療救護体制の整備	○定期的な医薬品や物品の確認を行う。 ○研修会等に参加し、情報を共有し、体制づくりを行う。			
	4 保健所の保健・医療調整機能の強化				
食品の安全確保対策	1 食中毒防止対策	○健康教育などで、食中毒予防についての情報提供を行う。			●
	2 HACCP方式の衛生管理の普及				

※ 重点評価欄には実施機関として重点的、または特色ある取組の場合は「◎」、通常業務の中での取組には「●」を記して下さい。

「富士・東部地域保健医療行動計画」に基づく 平成30年度取組状況

30年度実績

		所属名	上野原市	担当部署	長寿健康課
項目	内容	平成30年度の取組実績			重点評価
在宅医療の推進	1 在宅での医療を選択できるしくみづくり（退院支援、日常の療養支援、急変時の対応、看取り含む）	特になし			●
	2 人材育成	多職種連携部会による研修			●
	3 在宅医療に対する普及啓発	地域サロンや老人クラブへの出前講座開催支援			●
（住所地） 自殺対策の推進	1 普及啓発	1. 広報による周知を実施している			●
	2 地域の取り組み体制の強化	4. 「こころの健康相談」として、週2日教員による電話相談を実施した。			
	3 連携体制の強化				
	4 人材育成・相談体制の強化				
（ハイリスク地） 自殺対策の推進	1 イメージアップ対策				
	2 水際対策				
	3 連携体制の強化				
	4 見守体制の強化				
（発症予防・重症化予防） 生活習慣病対策の推進	1 早期発見、早期治療の推進及び重症化予防	<ul style="list-style-type: none"> ・国保担当と連携し、特定健診の受診勧奨を実施 ・がん検診無料年齢で設定し、受診勧奨、再勧奨、要精検者には、電話で受診勧奨を実施。 ・健診受診者と一般市民を対象とした運動のすすめや、生活改善のすすめについて、健康教室を実施。 ・山梨県の実施する研修会への参加。 ・高血圧予防を目的に減塩対策を食生活改善推進委員会を通じて実施。 ・糖尿病予防として市立病院と共催で事業を実施。 ・検診受診者の内、喫煙者に対しては禁煙外来への案内やパンフレットを送付。 			◎
	2 発症予防（望ましい生活習慣）の推進				
	3 関係機関との連携体制強化及び協働した取組の推進				
感染症対策の強化	1 新型インフルエンザ等対策（重大感染症対策）	行動計画に基づく役割分担の再周知・確認			●
	2 東京オリンピック・パラリンピック競技大会（東京大会）に向けての感染症対策				
災害時調整の医療体制整備	1 災害医療体制の現状把握と共有	1. 医療救護所設置に伴う資機材等の把握・確認（毎年）			●
	2 情報伝達・共有手段の普及	2. EMISによる情報収集訓練			
	3 市町村レベルの医療救護体制の整備	3. 医療救護所の設置訓練の実施（8/26）			
	4 保健所の保健・医療調整機能の強化	4. 保健所が実施する訓練に協力			
食品の安全確保対策	1 食中毒防止対策	ポスターや広報による市民向けの周知			●
	2 HACCP方式の衛生管理の普及				

※ 重点評価欄には実施機関として重点的、または特色ある取組の場合は「◎」、通常業務の中での取組には「●」を記して下さい。

所属名	上野原市	担当部署	子育て保健課
-----	------	------	--------

項目	内容	平成31年度の具体的取組	重点評価
在宅医療の推進	1 在宅での医療を選択できるしくみづくり（退院支援、日常の療養支援、急変時の対応、看取り含む）	地区医師会と連携し、ルールの策定に向けた検討	●
	2 人材育成	多職種連携部会による研修	●
	3 在宅医療に対する普及啓発	地域サロンや老人クラブ等への出前講座開催支援	●
（住所地）自殺対策の推進	1 普及啓発	1. 広報による周知を実施する。 4. 社会福祉協議会に委託し、「こころの健康相談」事業として、精神保健福祉士による対面及び電話相談を実施する。	●
	2 地域の取り組み体制の強化		
	3 連携体制の強化		
	4 人材育成・相談体制の強化		
（ハイリスク地）自殺対策の推進	1 イメージアップ対策		
	2 水際対策		
	3 連携体制の強化		
	4 見守体制の強化		
（発症予防）生活習慣病対策の推進	1 早期発見、早期治療の推進及び重症化予防	<ul style="list-style-type: none"> ・国保担当と連携し、特定健診の受診勧奨を実施 ・がん検診無料年齢で設定し、受診勧奨、再勧奨、要精検者には、電話で受診勧奨を実施。 ・健診受診者と一般市民を対象とした運動のすすめや、生活改善のすすめについて、健康教室を実施。 ・山梨県の実施する研修会への参加。 ・高血圧予防を目的に減塩対策を食生活改善推進委員会を通じて実施。 ・糖尿病予防として市立病院と共催で事業を実施。 ・検診受診者の内、喫煙者に対しては禁煙外来への案内やパンフレットを送付。 	◎
	2 発症予防（望ましい生活習慣）の推進		
	3 関係機関との連携体制強化及び協働した取組の推進		
感染症対策の強化	1 新型インフルエンザ等対策（重大感染症対策）	行動計画に基づく役割分担の再周知・確認	●
	2 東京オリンピック・パラリンピック競技大会（東京大会）に向けての感染症対策		
災害時体制の整備の医療	1 災害医療体制の現状把握と共有	1. 医療救護所設置に伴う資機材等の把握・確認（毎年） 2. EMISによる情報収集訓練 3. 医療救護所の設置訓練の実施 4. 保健所が実施する訓練に協力	●
	2 情報伝達・共有手段の普及		
	3 市町村レベルの医療救護体制の整備		
	4 保健所の保健・医療調整機能の強化		
食品の安全確保対策	1 食中毒防止対策	ポスターや広報による市民向けの周知	●
	2 HACCP方式の衛生管理の普及		

※ 重点評価欄には実施機関として重点的、または特色ある取組の場合は「◎」、通常業務の中での取組には「●」を記して下さい。

「富士・東部地域保健医療行動計画」に基づく 平成30年度取組状況

30年度実績

		所属名	道志村役場	担当部署	住民健康課
項目	内容	平成30年度の取組実績			重点評価
在宅医療の推進	1 在宅での医療を選択できるしくみづくり（退院支援、日常の療養支援、急変時の対応、看取り含む）	<ul style="list-style-type: none"> ・多職種連携会議開催（年2回）により道志村における在宅医療体制の充実に向け意見交換し、取り組みの推進を目指した。 ・自宅での看取り数の把握・訪問看護師との情報交換会（年11回）およびケアマネ意見交換会（年1回）により道志村における在宅医療の課題について意見集約し多職種連携会議に反映した。 			●
	2 人材育成	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣市町村との合同による富士北麓地域ケアマネ研修会の開催（年5回） ・地域ケア会議開催（月1回） 			●
	3 在宅医療に対する普及啓発	<ul style="list-style-type: none"> ・広報掲載・相談時等在宅医療推進に向けての情報提供 ・民生委員会等地区組織の会議における情報提供 			●
（住所地） 自殺対策の推進	1 普及啓発	<ul style="list-style-type: none"> ・広報掲載 			●
	2 地域の取り組み体制の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・民生委員会等地区組織の会議における情報提供 ・閉じこもり、うつ傾向のある方への戸別テレビ電話からの呼び掛けや相談の実施（土日・祝日を除いて通年） 			
	3 連携体制の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・保健師が民生委員会出席し、情報共有・連携強化を図る（月1回） 			
	4 人材育成・相談体制の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・地域ケア会議の開催（月1回） ・保健師の研修会参加 			
（ハイリスク地） 自殺対策の推進	1 イメージアップ対策				
	2 水際対策				
	3 連携体制の強化				
	4 見守体制の強化				
（発症予防・重症化予防） 生活習慣病対策の推進	1 早期発見、早期治療の推進及び重症化予防	<ul style="list-style-type: none"> ・基本健診、がん検診の電話や訪問による受診勧奨 ・要精検未受診者への通知と電話による受診勧奨 			●
	2 発症予防（望ましい生活習慣）の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・健康づくりポイントラリーの実施 ・特定保健指導対象者への指導充実（訪問対応） 			
	3 関係機関との連携体制強化及び協働した取組の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・健康づくり推進委員と連携し、全戸訪問での受診勧奨 			
感染症対策の強化	1 新型インフルエンザ等対策（重大感染症対策）	<ul style="list-style-type: none"> ・備蓄品の再整備、行動計画の確認 			●
	2 東京オリンピック・パラリンピック競技大会（東京大会）に向けての感染症対策				
災害時体制整備の医療	1 災害医療体制の現状把握と共有	<ul style="list-style-type: none"> ・道志村診療所、総務課防災担当との連携 ・道志村防災計画職員会議への出席により内容把握、意見提言 			●
	2 情報伝達・共有手段の普及	<ul style="list-style-type: none"> ・情報伝達ツール（EMIS等）について職員間での共有及び訓練参加 			
	3 市町村レベルの医療救護体制の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・道志村防災計画職員会議への出席により内容把握、意見提言 			
	4 保健所の保健・医療調整機能の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・保健所が企画した訓練に参加し、役場内での役割を明確にする。 			
食品の安全確保対策	1 食中毒防止対策	<ul style="list-style-type: none"> ・チラシを用いて食中毒防止について周知する 			●
	2 HACCP方式の衛生管理の普及				

※ 重点評価欄には実施機関として重点的、または特色ある取組の場合は「◎」、通常業務の中での取組には「●」を記して下さい。

		所属名	道志村役場	担当部署	住民健康課
項目	内容	平成31年度の具体的取組			重点評価
在宅医療の推進	1 在宅での医療を選択できるしくみづくり（退院支援、日常の療養支援、急変時の対応、看取り含む）	・在宅医療介護連携推進事業として会議の開催・在宅での看取り数の把握・訪問看護師との情報交換会（月1回）およびケアマネ意見交換会（年1回）により道志村における在宅医療の課題について意見集約し解決策に結びつける。			●
	2 人材育成	・近隣市町村との合同による富士北麓地域ケアマネ研修会の開催（年5回） ・地域ケア会議開催（月1回）			●
	3 在宅医療に対する普及啓発	・広報掲載 ・相談時等在宅医療推進に向けての情報提供 ・民生委員会等地区組織の会議における情報提供			●
（住所地） 自殺対策の推進	1 普及啓発	・広報掲載			●
	2 地域の取り組み体制の強化	・民生委員会等地区組織の会議における情報提供 ・閉じこもり、うつ傾向のある方への戸別テレビ電話からの呼び掛けや相談の実施（土日・祝日を除いて通年）			
	3 連携体制の強化	・保健師が民生委員会出席し、情報共有・連携強化を図る（月1回）			
	4 人材育成・相談体制の強化	・地域ケア会議の開催（月1回） ・保健師の研修会参加			
（ハイリスク地） 自殺対策の推進	1 イメージアップ対策				
	2 水際対策				
	3 連携体制の強化				
	4 見守体制の強化				
（発症予防） 生活習慣病対策の推進	1 早期発見、早期治療の推進及び重症化予防	・基本健診、がん検診の電話や訪問による受診勧奨 ・要精検未受診者への通知と電話による受診勧奨			●
	2 発症予防（望ましい生活習慣）の推進	・健康づくりポイントラリーの実施 ・特定保健指導対象者への指導充実 ・結果説明会における個別説明と保健指導の実施			
	3 関係機関との連携体制強化及び協働した取組の推進	・健康づくり推進委員と連携し、全戸訪問での受診勧奨 ・道志村診療所での個別特定健診の開始			
の強化 感染症対策	1 新型インフルエンザ等対策（重大感染症対策）	・備蓄品の再整備、行動計画の確認			●
	2 東京オリンピック・パラリンピック競技大会（東京大会）に向けての感染症対策				
災害時 の医療 体制の整備	1 災害医療体制の現状把握と共有	・道志村診療所、総務課防災担当との連携			●
	2 情報伝達・共有手段の普及	・情報伝達ツール（EMIS等）について職員間での共有及び訓練参加			
	3 市町村レベルの医療救護体制の整備	・道志村防災計画の内容把握、防災訓練への意見提言			
	4 保健所の保健・医療調整機能の強化	・保健所が企画した訓練に参加し、役場内での役割を明確にする。			
食品の 安全 確保対策	1 食中毒防止対策	・チラシを用いて食中毒防止について周知する			●
	2 HACCP方式の衛生管理の普及				

※ 重点評価欄には実施機関として重点的、または特色ある取組の場合は「◎」、通常業務の中での取組には「●」を記して下さい。

「富士・東部地域保健医療行動計画」に基づく 平成30年度取組状況

30年度実績

		所属名	西桂町	担当部署	福祉保健課
項目	内容	平成30年度の取組実績			重点評価
在宅医療の推進	1 在宅での医療を選択できるしくみづくり（退院支援、日常の療養支援、急変時の対応、看取り含む）	<ul style="list-style-type: none"> 西桂町在宅医療・介護連携推進会議開催（1回） 西桂町医療・介護資源マップ、リストの作成 医療と介護の連携に係る打合せ会への参画 			●
	2 人材育成	<ul style="list-style-type: none"> 県等で開催された研修会への参加 			●
	3 在宅医療に対する普及啓発	<ul style="list-style-type: none"> 西桂町在宅医療・介護普及啓発講演会開催 			●
（住所地） 自殺対策の推進	1 普及啓発	心の健康相談統一ダイヤル等を広報等で周知。			●
	2 地域の取り組み体制の強化	<ul style="list-style-type: none"> 「ゲートキーパー養成研修」の実施。 西桂町自殺対策計画の策定。 			
	3 連携体制の強化				
	4 人材育成・相談体制の強化	研修会に参加し担当者のスキルアップ。			
（ハイリスク地） 自殺対策の推進	1 イメージアップ対策				
	2 水際対策				
	3 連携体制の強化				
	4 見守体制の強化				
（発症予防・重症化予防） 生活習慣病対策の推進	1 早期発見、早期治療の推進及び重症化予防	<ul style="list-style-type: none"> 特定健診の事後指導、有所見者に対する指導を個別に実施。 精密検査未受診者への受診勧奨実施。 			●
	2 発症予防（望ましい生活習慣）の推進	<ul style="list-style-type: none"> 地域・職域保健連携推進協議会への参加。 疾病予防や運動習慣確立を目的とした健康教室の実施。 			
	3 関係機関との連携体制強化及び協働した取組の推進	富士吉田医師会と連携した、糖尿病性腎症重症化予防事業の実施。			
感染症対策の強化	1 新型インフルエンザ等対策（重大感染症対策）	専門職間での机上訓練の実施。			●
	2 東京オリンピック・パラリンピック競技大会（東京大会）に向けての感染症対策	特になし			
災害時の医療体制整備	1 災害医療体制の現状把握と共有	<ul style="list-style-type: none"> 西桂町地域防災計画等の確認 防災倉庫備品の確認、見直し、補充 防災担当との連携、情報伝達訓練への参画 E M I S の使用方法の確認 H U G の実施 			●
	2 情報伝達・共有手段の普及				
	3 市町村レベルの医療救護体制の整備	<ul style="list-style-type: none"> 救急医療セットの中身の更新等 他市町村防災訓練、医療救護訓練の見学、参加 			
	4 保健所の保健・医療調整機能の強化				
食品の安全確保対策	1 食中毒防止対策	食品を取り扱うイベントを実施する際に、注意喚起のための説明を行った。			●
	2 HACCP方式の衛生管理の普及	食品を取り扱うイベントを実施する際に、HACCP方式の衛生管理に関する説明を行った。			

※ 重点評価欄には実施機関として重点的、または特色ある取組の場合は「◎」、通常業務の中での取組には「●」を記して下さい。

所属名	西桂町	担当部署	福祉保健課
-----	-----	------	-------

項目	内容	平成31年度の具体的取組	重点評価
在宅医療の推進	1 在宅での医療を選択できるしくみづくり (退院支援、日常の療養支援、急変時の対応、看取り含む)	<ul style="list-style-type: none"> 西桂町在宅医療・介護連携推進会議開催(年1回) 西桂町医療・介護資源マップ、リストの普及、啓発 在宅医療・介護相談窓口の設置、住民への周知 自宅看取りの事例のまとめ、課題の抽出 医療と介護の連携に係る打合せ会への参画 	●
	2 人材育成		
	3 在宅医療に対する普及啓発	<ul style="list-style-type: none"> 在宅医療、介護に関する住民向け講演会の開催 	◎
(住所地) 自殺対策の推進	1 普及啓発	<ul style="list-style-type: none"> 自殺予防啓発パンフレットの配布。 心の健康相談統一ダイヤル等広報掲載。 	●
	2 地域の取り組み体制の強化	<ul style="list-style-type: none"> 地区組織を対象としたゲートキーパー養成研修の実施。 	
	3 連携体制の強化		
	4 人材育成・相談体制の強化	<ul style="list-style-type: none"> 各種研修会に参加し担当者のスキルアップを行なう。 	
(ハイリスク地) 自殺対策の推進	1 イメージアップ対策		
	2 水際対策		
	3 連携体制の強化		
	4 見守体制の強化		
(発症予防・重症化予防) 生活習慣病の推進対策	1 早期発見、早期治療の推進及び重症化予防	<ul style="list-style-type: none"> 特定健診の事後指導、有所見者に対する指導の徹底。 精密検査未受診者への受診勧奨の実施。 	●
	2 発症予防(望ましい生活習慣)の推進	<ul style="list-style-type: none"> 疾病予防や運動習慣確立を目的とした健康教室の実施。 	
	3 関係機関との連携体制強化及び協働した取組の推進	<ul style="list-style-type: none"> 富士吉田医師会と連携した、糖尿病性腎症重症化予防事業の実施。 	
感染症対策の強化	1 新型インフルエンザ等対策(重大感染症対策)	<ul style="list-style-type: none"> 机上訓練や発生を想定した訓練の実施。 	●
	2 東京オリンピック・パラリンピック競技大会(東京大会)に向けての感染症対策	<ul style="list-style-type: none"> 東京オリンピックに向けた感染症対策の周知。 	
災害時体制の整備医療	1 災害医療体制の現状把握と共有	<ul style="list-style-type: none"> 防災担当等との連携(定期的な連絡会の開催) E M I S使用方法の確認(関係職員) 情報伝達訓練への参画 	●
	2 情報伝達・共有手段の普及		
	3 市町村レベルの医療救護体制の整備	<ul style="list-style-type: none"> 西桂町医療救護計画の見直し、整備 避難所運営訓練等 	
	4 保健所の保健・医療調整機能の強化		
食品の安全確保対策	1 食中毒防止対策	<ul style="list-style-type: none"> 食品を取り扱うイベント時に啓発用チラシを配布し、食中毒防止について周知をする。 広報などで食中毒防止のための情報提供。 	●
	2 HACCP方式の衛生管理の普及	<ul style="list-style-type: none"> 食品を取り扱うイベント時等にHACCP方式の衛生管理について周知をする。 	

※ 重点評価欄には実施機関として重点的、または特色ある取組の場合は「◎」、通常業務の中での取組には「●」を記して下さい。

		所属名	忍野村	担当部署	福祉保健課
項目	内容	平成30年度の取組実績			重点評価
在宅医療の推進	1 在宅での医療を選択できるしくみづくり（退院支援、日常の療養支援、急変時の対応、看取り含む）	<ul style="list-style-type: none"> 在宅医療広域連携会議への参加 地域ケア会議にて在宅医療の課題の抽出と検討 自宅看取りの状況実態把握 			◎
	2 人材育成	<ul style="list-style-type: none"> 地域ケア会議にて在宅医療と介護連携強化の研修会の内容を検討 			●
	3 在宅医療に対する普及啓発	<ul style="list-style-type: none"> 「見てわかる在宅医療&在宅介護」冊子の配布 広報にて在宅医療についての情報提供及び周知 			●
（住所地）自殺対策の推進	1 普及啓発	<ul style="list-style-type: none"> 「山梨いのちの日」「自殺予防週間」「自殺対策強化月間」を重点期間として周知の実施 中学校にて11月に自殺対策に関する講演会を実施 			●
	2 地域の取り組み体制の強化				
	3 連携体制の強化				
	4 人材育成・相談体制の強化				
（ハイリスク）自殺対策の推進	1 イメージアップ対策	/			
	2 水際対策				
	3 連携体制の強化				
	4 見守体制の強化				
（発症予防・重症化予防）生活習慣病対策の推進	1 早期発見、早期治療の推進及び重症化予防	<ul style="list-style-type: none"> 総合健診、がん検診受診勧奨の実施 がん精密検査未受診者への受診勧奨を継続するとともに、CKD及び糖尿病要精検者、肝硬度測定対象者への受診勧奨実施 朝食欠食関連情報について広報掲載 富士吉田医師会と連携した糖尿病重症化予防の取り組み実施 			●
	2 発症予防（望ましい生活習慣）の推進				
	3 関係機関との連携体制強化及び協働した取組の推進				
感染症対策の強化	1 新型インフルエンザ等対策（重大感染症対策）	<ul style="list-style-type: none"> 衛生行政研究会にて、住民接種体制や医師会への協力依頼について検討 			●
	2 東京オリンピック・パラリンピック競技大会（東京大会）に向けての感染症対策	<ul style="list-style-type: none"> 発生を想定した連絡訓練を実施 感染症発生動向の確認と情報提供の実施 予防接種未接種者への接種勧奨（年2回） 			
災害時体制整備の医療	1 災害医療体制の現状把握と共有	<ul style="list-style-type: none"> 担当者会議や研修会に参加 保健所主催の訓練時に衛星電話やEMISの使用方法を課内で確認及び実施 防災訓練時救護所の設営 			●
	2 情報伝達・共有手段の普及				
	3 市町村レベルの医療救護体制の整備				
	4 保健所の保健・医療調整機能の強化				
食品の安全確保対策	1 食中毒防止対策	<ul style="list-style-type: none"> 母子手帳交付時、妊婦へ食中毒予防の指導 福祉健康まつり出店やにこにこ教室の昼食提供等各種イベントでの食品取扱いに対して、指導指針を遵守するよう指導 			●
	2 HACCP方式の衛生管理の普及	/			

※ 重点評価欄には実施機関として重点的、または特色ある取組の場合は「◎」、通常業務の中での取組には「●」を記して下さい。

所属名	忍野村	担当部署	福祉保健課
-----	-----	------	-------

項目	内容	平成31年度の具体的取組	重点評価
在宅医療の推進	1 在宅での医療を選択できるしくみづくり（退院支援、日常の療養支援、急変時の対応、看取り含む）	<ul style="list-style-type: none"> 在宅医療広域連携会議への参加 地域ケア会議の開催 自宅での看取りの状況実態把握 	◎
	2 人材育成	<ul style="list-style-type: none"> 地域ケア会議にて在宅医療と介護の多職種連携の研修会の実施 「チームアプローチ」について 	●
	3 在宅医療に対する普及啓発	<ul style="list-style-type: none"> 医療、介護のための地域マップの作成及び配付 広報などで相談窓口や在宅医療について情報提供及び周知 	●
（住所地） 自殺対策の推進	1 普及啓発	<ul style="list-style-type: none"> 広報誌、ホームページを活用した「山梨いのちの日」「自殺予防週間」「自殺対策強化月間」等の普及 小中学生及び関係教職員を対象とした講演会の実施 社会福祉協議会「何でも相談」を月1回実施 山梨県弁護士会が開催している各種相談会の周知 山梨県精神保健福祉センターや山梨県自殺防止センターと、自殺予防や遺族支援に関し連携体制をとる 民生委員を対象とした、ゲートキーパー養成研修会の開催 	●
	2 地域の取り組み体制の強化		
	3 連携体制の強化		
	4 人材育成・相談体制の強化		
（ハイリスク地） 自殺対策の推進	1 イメージアップ対策	/	
	2 水際対策		
	3 連携体制の強化		
	4 見守体制の強化		
（発症予防） 生活習慣病対策の推進	1 早期発見、早期治療の推進及び重症化予防	<ul style="list-style-type: none"> 基本健診、がん検診の継続実施 がん検診、糖尿病、CKD精検者、肝硬度測定未受診者への受診勧奨 疾病予防について広報掲載 	●
	2 発症予防（望ましい生活習慣）の推進		
	3 関係機関との連携体制強化及び協働した取組の推進		
の強化 感染症対策	1 新型インフルエンザ等対策（重大感染症対策）	<ul style="list-style-type: none"> 住民接種について実施マニュアルの検討、連絡訓練の継続実施 感染症発生動向の確認と情報提供、感染予防の啓蒙 予防接種未接種者への接種勧奨（年2回） 	●
	2 東京オリンピック・パラリンピック競技大会（東京大会）に向けての感染症対策		
災害体制時 整備の医療 備	1 災害医療体制の現状把握と共有	<ul style="list-style-type: none"> 担当者会議や研修会に参加 保健所主催の訓練時に衛星電話やEMISの使用方法を課内で確認及び実施 防災訓練時救護所の設営 	●
	2 情報伝達・共有手段の普及		
	3 市町村レベルの医療救護体制の整備		
	4 保健所の保健・医療調整機能の強化		
食品の安全 確保対策	1 食中毒防止対策	<ul style="list-style-type: none"> 広報にて食中毒予防について知識を啓蒙 母子手帳交付時、妊婦へ食中毒予防の指導 福祉健康まつり出店やにこにこ教室の昼食提供等各種イベントでの食品取扱いに対して、指導指針を遵守するよう指導 	●
	2 HACCP方式の衛生管理の普及		

※ 重点評価欄には実施機関として重点的、または特色ある取組の場合は「◎」、通常業務の中での取組には「●」を記して下さい。

		所属名	山中湖村	担当部署	いきいき健康課
項目	内容	平成30年度の取組実績			重点評価
在宅医療の推進	1 在宅での医療を選択できるしくみづくり（退院支援、日常の療養支援、急変時の対応、看取り含む）	特になし			
	2 人材育成	特になし			
	3 在宅医療に対する普及啓発	特になし			
（住所地） 自殺対策の推進	1 普及啓発	普及啓発物品の配布			●
	2 地域の取り組み体制の強化				
	3 連携体制の強化	自殺対策推進計画の策定			
	4 人材育成・相談体制の強化				
（ハイリスク地） 自殺対策の推進	1 イメージアップ対策	健やか樹海ウオークへの参加			●
	2 水際対策				
	3 連携体制の強化				
	4 見守体制の強化				
（発症予防・重症化予防） 生活習慣病対策の推進	1 早期発見、早期治療の推進及び重症化予防	地域・職域連携協議会への参加 健康メッセージの広報掲載（2回） 特定健診受診勧奨訪問の実施 がん担当者会議等の内容を受け、精検フォロー方法の見直し がん検診指針の広報掲載・周知 地域組織向け生活習慣病予防研修会の実施（3回）			●
	2 発症予防（望ましい生活習慣）の推進				
	3 関係機関との連携体制強化及び協働した取組の推進				
感染症対策の強化	1 新型インフルエンザ等対策（重大感染症対策）	近隣市町村との会議における検討			●
	2 東京オリンピック・パラリンピック競技大会（東京大会）に向けての感染症対策	特になし			
災害時体制の整備 医療	1 災害医療体制の現状把握と共有	大規模災害情報伝達訓練への参加			●
	2 情報伝達・共有手段の普及				
	3 市町村レベルの医療救護体制の整備	庁内での検討（防災担当）			
	4 保健所の保健・医療調整機能の強化	特になし			
食品の安全確保対策	1 食中毒防止対策	イベント時の保健所への相談 公立保育所給食従事者の研修会への参加			●
	2 HACCP方式の衛生管理の普及	特になし			

※ 重点評価欄には実施機関として重点的、または特色ある取組の場合は「◎」、通常業務の中での取組には「●」を記して下さい。

31年度計画

所属名	山中湖村	担当部署	福祉健康課
-----	------	------	-------

項目	内容	平成31年度の具体的取組	重点評価
在宅医療の推進	1 在宅での医療を選択できるしくみづくり（退院支援、日常の療養支援、急変時の対応、看取り含む）	特になし	
	2 人材育成	特になし	
	3 在宅医療に対する普及啓発	特になし	
（住所地）自殺対策の推進	1 普及啓発	普及啓発物品の配布	
	2 地域の取り組み体制の強化	自殺対策推進計画の円滑な実施 ゲートキーパー養成講座の開催に向けた検討	●
	3 連携体制の強化		
	4 人材育成・相談体制の強化		
（ハイリスク地）自殺対策の推進	1 イメージアップ対策		地域住民や関係機関等との連携体制の構築 地域における声掛け体制の構築
2 水際対策			
3 連携体制の強化			
4 見守体制の強化			
（発症予防）の推進 生活習慣病対策	1 早期発見、早期治療の推進及び重症化予防	指針内容と実施内容の見直し検討（健診） 未把握者減少を目標とした追跡フォロー実施 特定保健指導のアウトソーシングと実施率向上に向けた検討	●
	2 発症予防（望ましい生活習慣）の推進		
	3 関係機関との連携体制強化及び協働した取組の推進		
感染症対策の強化	1 新型インフルエンザ等対策（重大感染症対策）	広域的な体制整備に向けた検討、関係機関との調整の継続	●
	2 東京オリンピック・パラリンピック競技大会（東京大会）に向けての感染症対策	風しん対策事業の実施	
災害体制の整備 災害時医療の備	1 災害医療体制の現状把握と共有	大規模災害情報伝達訓練への参加 災害弱者（医療依存度の高い人等）の台帳整備	●
	2 情報伝達・共有手段の普及		
	3 市町村レベルの医療救護体制の整備	医療救護訓練への参加	●
	4 保健所の保健・医療調整機能の強化	特になし	
食品の安全確保対策	1 食中毒防止対策	イベント時の保健所への相談 公立保育所給食従事者の研修会への参加	●
	2 HACCP方式の衛生管理の普及	特になし	

※ 重点評価欄には実施機関として重点的、または特色ある取組の場合は「◎」、通常業務の中での取組には「●」を記して下さい。

		所属名	鳴沢村	担当部署	福祉保健課
項目	内容	平成30年度の取組実績			重点評価
在宅医療の推進	1 在宅での医療を選択できるしくみづくり（退院支援、日常の療養支援、急変時の対応、看取り含む）	村内診療所に在宅医療や訪問診療を実施してもらうように要請している。（村内に診療所を誘致した際に、地域の医療の向上を条件としていたため。）			●
	2 人材育成	地域ケア会議を開催。また、ケア会議の他にも地域の医療・介護専門職が集まる機会を設け、なんでも相談しやすい関係作りを行っている。また、専門職により地域の在宅医療推進について検討している。			●
	3 在宅医療に対する普及啓発	広報誌やリーフレット等で在宅医療について普及啓発をしている。高齢者の集まる機会に出向き、在宅医療について説明し、考えるきっかけ作りに努めている。			●
（住所地） 自殺対策の推進	1 普及啓発	自殺対策ボランティア講座を実施。役場職員や民生委員が参加し、地域の自殺防止対策を強化している。			●
	2 地域の取り組み体制の強化				
	3 連携体制の強化				
	4 人材育成・相談体制の強化				
（ハイリスク地） 自殺対策の推進	1 イメージアップ対策	「青木ヶ原ふれあい声かけ事業」による、樹海周辺の車両巡回や徒歩での見回りにより自殺者の減少を図る。			◎
	2 水際対策				
	3 連携体制の強化				
	4 見守体制の強化				
（発症予防・重症化予防） 生活習慣病対策の推進	1 早期発見、早期治療の推進及び重症化予防	全世帯へ通知による健診の受診を勧奨。受診者全員に結果説明を実施し、生活習慣病予防や疾病の早期発見に努めている。ヘルシークッキング教室の開催やCKD予防講演会などを通して生活習慣病予防について周知している。			●
	2 発症予防（望ましい生活習慣）の推進				
	3 関係機関との連携体制強化及び協働した取組の推進				
感染症対策の強化	1 新型インフルエンザ等対策（重大感染症対策）	感染症対策のため、医療物品等を備蓄・管理している。			●
	2 東京オリンピック・パラリンピック競技大会（東京大会）に向けての感染症対策				
災害時体制整備の医療	1 災害医療体制の現状把握と共有	県で行う大規模災害情報伝達訓練等に参加し、スムーズに情報収集・伝達できるよう、EMIS操作の確認を複数人で実施した。訓練と同時に、庁内で医療救護体制の整備等について検討している。			●
	2 情報伝達・共有手段の普及				
	3 市町村レベルの医療救護体制の整備				
	4 保健所の保健・医療調整機能の強化				
食品の安全確保対策	1 食中毒防止対策	衛生管理研修会に参加。手洗い、体調管理、調理用品等の洗浄・消毒など、日々の衛生管理の徹底により食中毒を予防することを広報などで周知している。			●
	2 HACCP方式の衛生管理の普及				

※ 重点評価欄には実施機関として重点的、または特色ある取組の場合は「◎」、通常業務の中での取組には「●」を記して下さい。

		所属名	鳴沢村	担当部署	福祉保健課
項目	内容	平成31年度の具体的取組			重点評価
在宅医療の推進	1 在宅での医療を選択できるしくみづくり（退院支援、日常の療養支援、急変時の対応、看取り含む）	前年度に引き続き、村内診療所に在宅医療や訪問診療を実施してもらうように要請していく。			●
	2 人材育成	地域ケア会議を開催予定。また、前年度と同様に地域の医療・介護専門職が集まる機会を設け、なんでも相談しやすい関係作りを行っていく。			●
	3 在宅医療に対する普及啓発	前年度同様に広報誌やリーフレット等で在宅医療について普及啓発をする。前年度までに検討した結果なども併せて掲載する。			●
（住所地） 自殺対策の推進	1 普及啓発	自殺対策ボランティアやゲートキーパーの養成講座により、さらなる自殺対策の推進が図られるよう開催を検討する。			●
	2 地域の取り組み体制の強化				
	3 連携体制の強化				
	4 人材育成・相談体制の強化				
（ハイリスク地） 自殺対策の推進	1 イメージアップ対策	前年度同様に「青木ヶ原ふれあい声かけ事業」による、樹海周辺の車両巡回や徒歩での見回りにより自殺者の減少を図る。			◎
	2 水際対策				
	3 連携体制の強化				
	4 見守体制の強化				
（発症予防） 生活習慣病対策の推進	1 早期発見、早期治療の推進及び重症化予防	前年度同様に全世帯へ通知による健診の受診を勧奨。受診者全員に結果説明を実施し、生活習慣病予防や疾病の早期発見に努める。今年度は保育所と連携し、園児から父母宛に園児向けの塗り絵付き健診受診勧奨を送付する。			●
	2 発症予防（望ましい生活習慣）の推進				
	3 関係機関との連携体制強化及び協働した取組の推進				
感染症対策の強化	1 新型インフルエンザ等対策（重大感染症対策）	感染症対策のため、医療物品等を備蓄・管理する。			●
	2 東京オリンピック・パラリンピック競技大会（東京大会）に向けての感染症対策				
災害時体制の整備の医療	1 災害医療体制の現状把握と共有	県で行う大規模災害情報伝達訓練等に参加する。訓練と同時に、庁内で医療救護体制の整備等について検討する。			●
	2 情報伝達・共有手段の普及				
	3 市町村レベルの医療救護体制の整備				
	4 保健所の保健・医療調整機能の強化				
食品の安全確保対策	1 食中毒防止対策	衛生管理研修会に参加予定。手洗い、体調管理、調理用品等の洗浄・消毒など、日々の衛生管理の徹底により食中毒を予防することを広報などで周知する。			●
	2 HACCP方式の衛生管理の普及				

※ 重点評価欄には実施機関として重点的、または特色ある取組の場合は「◎」、通常業務の中での取組には「●」を記して下さい。

「富士・東部地域保健医療行動計画」に基づく **平成30年度取組状況**

30年度実績

		所属名	富士河口湖町	担当部署	健康増進課
項目	内容	平成30年度の取組実績			重点評価
在宅医療の推進	1 在宅での医療を選択できるしくみづくり（退院支援、日常の療養支援、急変時の対応、看取り含む）	<ul style="list-style-type: none"> ・在宅医療推進協議会 4回（4/18、6/20、10/17、1/23）実施し、市町村の事業項目ア～クについて町の取り組み目標を協議した。 ・「入退院時の医療と介護の連携ルール」を富士東部保健所管内での作成中。 			●
	2 人材育成	未実施			
	3 在宅医療に対する普及啓発	<ul style="list-style-type: none"> ・住民対象の在宅医療フォーラム パネルディスカッション「ここまでする在宅医療」を7月25日に実施。参加者118名。 ・パネルディスカッション終了後、在宅医療・介護相談実施。相談者3名。 ・毎月の広報掲載：「在宅医療推進協議会から」と題して協議会委員の在宅医療に関しての専門的知識を普及啓発。 			◎
（住所地） 自殺対策の推進	1 普及啓発	<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関から提供されたパンフレット等の配布 ・「富士河口湖町自殺対策推進計画」をもとに施策実施に向けた準備 ・各関係機関、民生委員等との連携強化 ・自殺対策に関わる地域リーダーの育成 			●
	2 地域の取り組み体制の強化				
	3 連携体制の強化				
	4 人材育成・相談体制の強化				
（ハイリスク地） 自殺対策の推進	1 イメージアップ対策	<ul style="list-style-type: none"> ・自殺のイメージがある樹海において樹海ウォーク開催し、イメージアップを行う。 ・声掛け運動の実施 ・いのちをつなぐネットワーク会議への出席 			●
	2 水際対策				
	3 連携体制の強化				
	4 見守体制の強化				
（発症予防・重症化予防） 生活習慣病対策の推進	1 早期発見、早期治療の推進及び重症化予防	<ul style="list-style-type: none"> ・特定健診該当者への個別勧奨・再勧奨 ・健康診断ご案内パンフレットを町内世帯へ配布 ・広報誌等での周知 ・精密検査未受診者に対する受診勧奨の徹底。 ・特定保健指導の実施。健診結果説明会での個別及び集団指導。 ・腎臓内科医などと連携し、慢性腎臓病講演会や糖尿病教室を開催。 ・町内運動施設と連携し、メタボ解消教室を開催。 ・富士北麓糖尿病医療連携の会等への出席。（3回） ・山梨県CKD予防推進対策協議会への出席。（2回） ・富士東部がん対策担当者会議等への出席。（1回） 			●
	2 発症予防（望ましい生活習慣）の推進				
	3 関係機関との連携体制強化及び協働した取組の推進				
感染症対策の強化	1 新型インフルエンザ等対策（重大感染症対策）	<ul style="list-style-type: none"> ・国、県の新型インフルエンザ等対策訓練に併せて、町対策訓練を実施。災害時のBCPを参考にし、新型インフルエンザ対策のBCP策定に向けて準備 ・保健所からの感染症情報をHP等を通じて町民にリアルタイムに情報提供する。 			●
	2 東京オリンピック・パラリンピック競技大会（東京大会）に向けての感染症対策				
災害時整備の医療	1 災害医療体制の現状把握と共有	<ul style="list-style-type: none"> ・各関係機関の災害時の組織・医療体制を各関係機関と情報共有を行った。 ・災害医療担当者会議、情報伝達訓練の中で保健所からの情報を各関係機関に情報共有 ・防災訓練における医療救護所・避難所設置訓練の実施 			●
	2 情報伝達・共有手段の普及				
	3 市町村レベルの医療救護体制の整備				
	4 保健所の保健・医療調整機能の強化				
食品の安全確保対策	1 食中毒防止対策	<ul style="list-style-type: none"> ・広報等を通じての啓蒙活動を実施 			●
	2 HACCP方式の衛生管理の普及	未実施			

※ 重点評価欄には実施機関として重点的、または特色ある取組の場合は「◎」、通常業務の中での取組には「●」を記して下さい。

「富士・東部地域保健医療行動計画」に基づく **平成31年度の取組計画**

31年度計画

		所属名	富士河口湖町	担当部署	健康増進課
項目	内容	平成31年度の具体的取組			重点評価
在宅医療の推進	1 在宅での医療を選択できるしくみづくり（退院支援、日常の療養支援、急変時の対応、看取り含む）	<ul style="list-style-type: none"> ・在宅医療推進協議会を4回（4/17、6/19、10/16、1/22）実施し、仕組みづくりに向けて取り組む予定。 ・「入退院時の医療と介護の連携ルール」を富士東部保健所管内での作成作業と一緒に取り組み、完成後は関係者に対して連携ルール利用の普及啓発。 			●
	2 人材育成	予定なし			
	3 在宅医療に対する普及啓発	<ul style="list-style-type: none"> ・住民対象の在宅医療フォーラムを実施予定。 ・毎月の広報掲載：「在宅医療推進協議会から」と題して協議会委員の在宅医療に関しての専門的知識を普及啓発。 			◎
（住所地） 自殺対策の推進	1 普及啓発	<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関からのパンフレット等の配布・関係機関への掲示 ・「富士河口湖町自殺対策推進計画」をもとに施策実施に向けた準備と実施 ・各関係機関、民生委員、児童委員との連携強化 ・自殺対策に関わる地域リーダーの育成 ・心配事相談、弁護士相談の実施 			●
	2 地域の取り組み体制の強化				
	3 連携体制の強化				
	4 人材育成・相談体制の強化				
（ハイリスキ地） 自殺対策の推進	1 イメージアップ対策	<ul style="list-style-type: none"> ・樹海ウォーク開催（8月18日） ・声掛け監視員定例会の実施 ・いのちをつなぐネットワーク会議への出席 			●
	2 水際対策				
	3 連携体制の強化				
	4 見守体制の強化				
（発症予防） 生活習慣病対策の推進	1 早期発見、早期治療の推進及び重症化予防	<ul style="list-style-type: none"> ・特定健診該当者への個別勧奨・再勧奨 ・健康診断ご案内パンフレットを町内世帯へ配布 ・広報誌等での周知 ・精密検査未受診者に対する受診勧奨の徹底。 ・特定保健指導の実施。健診結果説明会での個別及び集団指導。 ・腎臓内科医などと連携し、慢性腎臓病講演会や糖尿病教室を開催。 ・町内運動施設と連携し、メタボ解消教室を開催。 ・富士北麓糖尿病医療連携の会等への出席。（3回） ・山梨県CKD予防推進対策協議会への出席。（2回） ・富士東部がん対策担当者会議等への出席。（1回） 			●
	2 発症予防（望ましい生活習慣）の推進				
	3 関係機関との連携体制強化及び協働した取組の推進				
感染症対策の強化	1 新型インフルエンザ等対策（重大感染症対策）	<ul style="list-style-type: none"> ・国、県の新型インフルエンザ等対策訓練に併せて、町対策訓練を実施。災害時のBCPを参考にし、新型インフルエンザ対策のBCP策定に向けて準備 ・保健所からの感染症情報をHP等を通じて町民にリアルタイムに情報提供する。 			●
	2 東京オリンピック・パラリンピック競技大会（東京大会）に向けての感染症対策				
災害体制時 の医療整備	1 災害医療体制の現状把握と共有	<ul style="list-style-type: none"> ・各関係機関の災害時の組織・医療体制を各関係機関と情報共有を行う。 ・災害医療担当者会議、情報伝達訓練の中で保健所からの情報を各関係機関に情報共有する。 ・防災訓練における医療救護所・避難所設置訓練の実施 			●
	2 情報伝達・共有手段の普及				
	3 市町村レベルの医療救護体制の整備				
	4 保健所の保健・医療調整機能の強化				
全食 策 品の 保 の 対 安	1 食中毒防止対策	<ul style="list-style-type: none"> ・広報誌等を通じて食中毒防止の啓蒙活動を行っていく 			●
	2 HACCP方式の衛生管理の普及	予定なし			

※ 重点評価欄には実施機関として重点的、または特色ある取組の場合は「◎」、通常業務の中での取組には「●」を記して下さい。

30年度実績

		所属名	小菅村	担当部署	住民課
項目	内容	平成30年度の取組実績			重点評価
在宅医療の推進	1 在宅での医療を選択できるしくみづくり（退院支援、日常の療養支援、急変時の対応、看取り含む）	<ul style="list-style-type: none"> ・医療・介護に係る情報共有打ち合わせ会議の開催 ・診療所による往診医療の実施 			●
	2 人材育成				
	3 在宅医療に対する普及啓発				
（住所地）自殺対策の推進	1 普及啓発	<ul style="list-style-type: none"> ・自殺防止啓発グッズの全戸配布 			
	2 地域の取り組み体制の強化				
	3 連携体制の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・相談窓口の設置 			
	4 人材育成・相談体制の強化				
（ハイリスク地）自殺対策の推進	1 イメージアップ対策				
	2 水際対策				
	3 連携体制の強化				
	4 見守体制の強化				
（発症予防・重症化予防）生活習慣病対策の推進	1 早期発見、早期治療の推進及び重症化予防	<ul style="list-style-type: none"> ・住民健診（年2回）受診の推進 ・健診結果説明会及び個別相談会の実施 ・食生活改善推進員との連携による食生活改善教室の実施 ・働き盛り世代の運動推進教室の開催 			◎
	2 発症予防（望ましい生活習慣）の推進				
	3 関係機関との連携体制強化及び協働した取組の推進				
感染症対策の強化	1 新型インフルエンザ等対策（重大感染症対策）	診療所との情報連携			●
	2 東京オリンピック・パラリンピック競技大会（東京大会）に向けての感染症対策				
災害時体制整備の医療	1 災害医療体制の現状把握と共有	防災訓練時における情報収集伝達訓練の実施			●
	2 情報伝達・共有手段の普及				
	3 市町村レベルの医療救護体制の整備				
	4 保健所の保健・医療調整機能の強化				
食品の安全確保対策	1 食中毒防止対策	広報等による食中毒注意喚起を実施			●
	2 HACCP方式の衛生管理の普及				

※ 重点評価欄には実施機関として重点的、または特色ある取組の場合は「◎」、通常業務の中での取組には「●」を記して下さい。

所属名	小菅村	担当部署	住民課
-----	-----	------	-----

項目	内容	平成31年度の具体的取組	重点評価
在宅医療の推進	1 在宅での医療を選択できるしくみづくり（退院支援、日常の療養支援、急変時の対応、看取り含む）	・医療・介護に係る情報共有打ち合わせ会議の開催 ・診療所による往診医療	●
	2 人材育成		
	3 在宅医療に対する普及啓発		
（住所地） 自殺対策の推進	1 普及啓発	・自殺防止啓発グッズの全戸配布 ・相談窓口の設置	●
	2 地域の取り組み体制の強化		
	3 連携体制の強化		
	4 人材育成・相談体制の強化		
（ハイリスク地） 自殺対策の推進	1 イメージアップ対策		
	2 水際対策		
	3 連携体制の強化		
	4 見守体制の強化		
（発症予防） 生活習慣病対策の推進	1 早期発見、早期治療の推進及び重症化予防	・住民健診（年2回）受診の推進 ・健診結果説明会及び個別相談会 ・食生活改善推進員との連携による食生活改善教室 ・働き盛り世代の運動推進教室	◎
	2 発症予防（望ましい生活習慣）の推進		
	3 関係機関との連携体制強化及び協働した取組の推進		
感染症対策の強化	1 新型インフルエンザ等対策（重大感染症対策）	診療所との情報連携	●
	2 東京オリンピック・パラリンピック競技大会（東京大会）に向けての感染症対策		
災害体制の整備	1 災害医療体制の現状把握と共有	防災訓練時における情報収集伝達訓練	●
	2 情報伝達・共有手段の普及		
	3 市町村レベルの医療救護体制の整備		
	4 保健所の保健・医療調整機能の強化		
食品の安全確保	1 食中毒防止対策	広報等による食中毒注意喚起	●
	2 HACCP方式の衛生管理の普及		

※ 重点評価欄には実施機関として重点的、または特色ある取組の場合は「◎」、通常業務の中での取組には「●」を記して下さい。

「富士・東部地域保健医療行動計画」に基づく 平成30年度取組状況

30年度実績

		所属名	丹波山村	担当部署	住民生活課
項目	内容	平成30年度の取組実績			重点評価
在宅医療の推進	1 在宅での医療を選択できるしくみづくり（退院支援、日常の療養支援、急変時の対応、看取り含む）	・ケア会議（村住民生活課、村診療所、村社会福祉協議会）を毎月開催し、住民の状況について把握し、対応している。			●
	2 人材育成	・ケア会議（村住民生活課、村診療所、村社会福祉協議会）で人材育成について検討し、結論は出ていないが引き続き人材育成の方法等を検討している。			●
	3 在宅医療に対する普及啓発	・在宅医療を希望する患者は、いると思うが在宅医療に対応できる体制が整っていない。そのため、積極的な啓発活動はしていない。			●
（住所）地） 自殺対策の推進	1 普及啓発	・未実施			●
	2 地域の取り組み体制の強化				
	3 連携体制の強化	・「丹波山村自殺対策計画」を作成。			
	4 人材育成・相談体制の強化				
（ハイリスク）地） 自殺対策の推進	1 イメージアップ対策	・未実施			
	2 水際対策				
	3 連携体制の強化				
	4 見守体制の強化				
（発症予防・重症化予防）の推進 生活習慣病対策	1 早期発見、早期治療の推進及び重症化予防	・丹波山村地域包括ケア会議とケア会議（村住民生活課、村診療所、村社会福祉協議会）で村内各地区の住民の状況について把握し、村食生活改善推進委員会とも連携し対応。			●
	2 発症予防（望ましい生活習慣）の推進				
	3 関係機関との連携体制強化及び協働した取組の推進				
感染症対策の強化	1 新型インフルエンザ等対策（重大感染症対策）	・当初予算で予算計上。村住民生活課と村診療所に対応について協議。			●
	2 東京オリンピック・パラリンピック競技大会（東京大会）に向けての感染症対策				
災害時体制の整備 医療	1 災害医療体制の現状把握と共有	村防災訓練に合わせ、庁内で災害時の組織・医療体制の把握を行い、情報共有を図った。 同上			●
	2 情報伝達・共有手段の普及				
	3 市町村レベルの医療救護体制の整備				
	4 保健所の保健・医療調整機能の強化				
食品の安全確保対策	1 食中毒防止対策	各種団体や各種事業で飲食を行うときには、衛生管理に十分気を付けるよう伝えている。			●
	2 HACCP方式の衛生管理の普及				

※ 重点評価欄には実施機関として重点的、または特色ある取組の場合は「◎」、通常業務の中での取組には「●」を記して下さい。

3 1 年度計画

		所属名	丹波山村	担当部署	住民生活課			
項目	内容	平成31年度の具体的取組			重点評価			
在宅医療の推進	1 在宅での医療を選択できるしくみづくり（退院支援、日常の療養支援、急変時の対応、看取り含む）	・ケア会議（村住民生活課、村診療所、村社会福祉協議会）を毎月開催し、住民の状況について把握し、引き続き対応していく。			●			
	2 人材育成	・ケア会議（村住民生活課、村診療所、村社会福祉協議会）で人材育成について検討し、結論は出ていないが引き続き人材育成の方法等を検討していく。			●			
	3 在宅医療に対する普及啓発	・在宅医療を希望する患者は、いると思うが在宅医療に対応できる体制が整っていない。そのため、どのような対応ができるかを検討し希望する患者さんを受け入れられるよう努力する。なお、積極的な啓発活動はまだできない。			●			
（住所地） 自殺対策の推進	1 普及啓発	・未実施			●			
	2 地域の取り組み体制の強化							
	3 連携体制の強化	・昨年度「丹波山村自殺対策計画」を作成したので、計画内容を確認しながら対応していく。						
	4 人材育成・相談体制の強化							
（ハイリスク地） 自殺対策の推進	1 イメージアップ対策	・未実施						
	2 水際対策							
	3 連携体制の強化							
	4 見守体制の強化							
（発症予防） 生活習慣病対策の推進	1 早期発見、早期治療の推進及び重症化予防	・丹波山村地域包括ケア会議とケア会議（村住民生活課、村診療所、村社会福祉協議会）で村内各地区の住民の状況について把握し、村食生活改善推進委員会とも連携し対応していく。			●			
	2 発症予防（望ましい生活習慣）の推進							
	3 関係機関との連携体制強化及び協働した取組の推進							
感染症対策の強化	1 新型インフルエンザ等対策（重大感染症対策）	・当初予算で予算計上。村住民生活課と村診療所で対応について協議。			●			
	2 東京オリンピック・パラリンピック競技大会（東京大会）に向けての感染症対策							
災害体制の整備	1 災害医療体制の現状把握と共有	村防災訓練に合わせ、庁内で災害時の組織・医療体制の把握を行い、情報共有を図っていく。			●			
	2 情報伝達・共有手段の普及							
	3 市町村レベルの医療救護体制の整備					同上		
	4 保健所の保健・医療調整機能の強化							
食品の安全確保対策	1 食中毒防止対策	各種団体や各種事業で飲食を行うときには、衛生管理に十分気を付けるよう伝えていく。			●			
	2 HACCP方式の衛生管理の普及							

※ 重点評価欄には実施機関として重点的、または特色ある取組の場合は「◎」、通常業務の中での取組には「●」を記して下さい。

「富士・東部地域保健医療行動計画」に基づく 平成30年度取組状況

30年度実績

		所属名	山梨赤十字病院	担当部署	総務課
項目	内容	平成30年度の取組実績			重点評価
在宅医療の推進	1 在宅での医療を選択できるしくみづくり（退院支援、日常の療養支援、急変時の対応、看取り含む）	退院支援を専門とする職員を各病棟に配置し、早期に住み慣れた地域での生活をできるように在宅復帰支援を継続して実施した。また、入院から退院まで一貫して在宅復帰支援をできるように、入院案内窓口を設置し、支援を実施した。			●
	2 人材育成	日本赤十字社及び各団体等が開催する研修会等に参加し、退院支援等に関するスキルの向上を図った。			●
	3 在宅医療に対する普及啓発	各行政機関や施設等と入院早期より在宅復帰・在宅医療へ向けての連携等を推進し、継続的に退院支援を実施した。			●
（住所地） 自殺対策の推進	1 普及啓発	ポスター掲示による啓発			●
	2 地域の取り組み体制の強化	・職場復帰プログラムの策定を図った。 ・ソーシャルワーカー研修会等の参加。			
	3 連携体制の強化				
	4 人材育成・相談体制の強化				
（ハイリスク地） 自殺対策の推進	1 イメージアップ対策				
	2 水際対策				
	3 連携体制の強化				
	4 見守体制の強化				
（発症予防・重症化予防） 生活習慣病対策の推進	1 早期発見、早期治療の推進及び重症化予防	各種健康診断・成人病検診及び人間ドック等を積極的に受け入れを行った。			●
	2 発症予防（望ましい生活習慣）の推進	・住民を対象とした健康講演会を2回開催した。 ・地域講習会（糖尿病腎臓障害）への講師派遣を行った。 ・職員健診要指導対象者への生活指導受診勧奨を行った。			
	3 関係機関との連携体制強化及び協働した取組の推進				
感染症の強化対策	1 新型インフルエンザ等対策（重大感染症対策）	新型インフルエンザ等の発生を想定した院内体制の再確認・見直し等を実施した。			●
	2 東京オリンピック・パラリンピック競技大会（東京大会）に向けての感染症対策				
災害体制時の医療整備	1 災害医療体制の現状把握と共有	災害対策マニュアル・BCP等を踏まえた災害医療体制の再確認・見直し等を実施し、関係機関の会議等にて連携等の強化を図った。			●
	2 情報伝達・共有手段の普及	EMIS等を利用し、災害発生時を想定した情報収集訓練等を実施した。			
	3 市町村レベルの医療救護体制の整備	町村との相互協力協定を締結した。			
	4 保健所の保健・医療調整機能の強化	保健所等が開催した災害救護訓練等に参加し、訓練を通じて調整機能等の強化を図った。			
食品の安全確保	1 食中毒防止対策	温冷配膳車の配備及び厨房機器等の整備を行った。			
	2 HACCP方式の衛生管理の普及				

※ 重点評価欄には実施機関として重点的、または特色ある取組の場合は「◎」、通常業務の中での取組には「●」を記して下さい。

「富士・東部地域保健医療行動計画」に基づく **平成31年度の取組計画**

31年度計画

所属名	山梨赤十字病院	担当部署	総務課
-----	---------	------	-----

項目	内容	平成31年度の具体的取組	重点評価
在宅医療の推進	1 在宅での医療を選択できるしくみづくり（退院支援、日常の療養支援、急変時の対応、看取り含む）	入院時から退院まで一貫して在宅復帰支援をできるように入院案内窓口職員に配置、退院支援を専門とする職員を各病棟に配置し、早期に住み慣れた地域での生活をできるように在宅復帰支援を継続して実施する。	●
	2 人材育成	各種団体等が開催する研修会等及び院内講演、講習等に参加し、退院支援等に関するスキルの向上を引き続き図り、MSWの増員を図り退院支援体制を充実させる。	●
	3 在宅医療に対する普及啓発	各行政機関や施設等と入院早期より在宅復帰・在宅医療へ向けての連携等を推進し、継続的に退院支援を実施する。	●
（住所地）自殺対策の推進	1 普及啓発	各関係団体等が開催する普及啓発活動等に参加・協力を行う。	●
	2 地域の取り組み体制の強化		
	3 連携体制の強化		
	4 人材育成・相談体制の強化	・MSWの増員を図る。 ・各種研修会等への参加。	
（ハイリスク地）自殺対策の推進	1 イメージアップ対策		
	2 水際対策		
	3 連携体制の強化		
	4 見守体制の強化		
（発症予防）生活習慣病対策の推進	1 早期発見、早期治療の推進及び重症化予防	各種健康診断・成人病検診及び人間ドック等を、引き続き積極的に受け入れを行う。	●
	2 発症予防（望ましい生活習慣）の推進	・住民を対象とした健康講演会を開催する。 ・地域講習会（糖尿病腎臓障害）への講師派遣を行う。 ・職員健診要指導対象者への生活指導受診勧奨を行う。	
	3 関係機関との連携体制強化及び協働した取組の推進		
感染症強化対策	1 新型インフルエンザ等対策（重大感染症対策）	新型インフルエンザ等の発生を想定した院内体制の再確認・見直し等を引き続き実施し、患者受入れ訓練等の検討を行う。	●
	2 東京オリンピック・パラリンピック競技大会（東京大会）に向けての感染症対策		
災害体制時整合の医療	1 災害医療体制の現状把握と共有	災害対策マニュアル・BCP等を踏まえた災害医療体制の再確認・見直し等を実施し、関係機関の会議等にて連携等の強化を引き続き図る。	●
	2 情報伝達・共有手段の普及	EMIS等を利用し、災害発生時を想定した情報収集訓練等を引き続き実施する。	
	3 市町村レベルの医療救護体制の整備		
	4 保健所の保健・医療調整機能の強化	保健所等が開催した災害救護訓練等に参加し、訓練を通じて調整機能等の強化を図る。	
食品の安全確保対策	1 食中毒防止対策	・厨房機器の整備 ・感染対策委員会での活動	●
	2 HACCP方式の衛生管理の普及		

※ 重点評価欄には実施機関として重点的、または特色ある取組の場合は「◎」、通常業務の中での取組には「●」を記して下さい。

「富士・東部地域保健医療行動計画」に基づく **平成30年度取組状況**

30年度実績

		所属名	国民健康保険 富士吉田市立病院	担当部署	管理課
項目	内容	平成30年度の取組実績			重点評価
在宅医療の推進	1 在宅での医療を選択できるしくみづくり（退院支援、日常の療養支援、急変時の対応、看取り含む）	<ul style="list-style-type: none"> 患者・家族の希望を確認し治療・療養場所（在宅療養か入院しての治療）を選択、その際には意思決定支援を行った。 緩和ケア環として在宅看取りを行った。 在宅看取り件数2件（H30年度） 在宅看取りを希望していても最終的には病院での看取りを希望する家族が多かった。 往診医との連携方法を検討した。（フロー作成） 			●
	2 人材育成	<ul style="list-style-type: none"> 介護支援専門員会議に参加。 相談支援専門員に対して病院機能の説明及び退院支援の状況を説明し共有した。 			●
	3 在宅医療に対する普及啓発	<ul style="list-style-type: none"> 市の広報による活動（病院医師が住民に対しての疾患の周知） 院長による公開講座開催 			●
（住所地）自殺対策の推進	1 普及啓発	<ul style="list-style-type: none"> 自殺企図防止ケア事業関係職員研修会へ参加 			●
	2 地域の取り組み体制の強化				
	3 連携体制の強化				
	4 人材育成・相談体制の強化				
（ハイルイス）自殺対策の推進	1 イメージアップ対策				
	2 水際対策				
	3 連携体制の強化				
	4 見守体制の強化				
（発症予防・重症化予防）生活習慣病対策の推進	1 早期発見、早期治療の推進及び重症化予防	人間ドック92件（特定健康診査含む） 脳ドック 28件 乳がん検診 42件			●
	2 発症予防（望ましい生活習慣）の推進				
	3 関係機関との連携体制強化及び協働した取組の推進				
感染症対策の強化	1 新型インフルエンザ等対策（重大感染症対策）	マニュアルの修正と追加（院内感染対策マニュアル改訂）			◎
	2 東京オリンピック・パラリンピック競技大会（東京大会）に向けての感染症対策	受け入れに関わる環境整備（空気感染隔離ユニットミニティ組み立て訓練の実施（2回）、診察室の整備、必要衛生材料・物品の定期チェック）			◎
災害時の医療体制整備	1 災害医療体制の現状把握と共有	災害用備蓄として、職員用350人分×3日、外来患者用100人分×2日の飲食料を確保した。また、ヘルメットも配備した。自家発電のオーバーホールを実施した。また、市と共同で富士山噴火想定避難訓練を実施した。トリアージ訓練については毎年実施し、BCP、災害マニュアルのブラッシュアップを図った。保健所や医師会との協力体制の構築については、実現しておらず、課題となっている。			●
	2 情報伝達・共有手段の普及	安否確認システムを利用した通信訓練を複数回実施した。			●
	3 市町村レベルの医療救護体制の整備				
	4 保健所の保健・医療調整機能の強化	医療救護班にかかる研修・訓練については、実現しておらず、課題となっている。			●
食品の安全確保対策	1 食中毒防止対策				
	2 HACCP方式の衛生管理の普及				

※ 重点評価欄には実施機関として重点的、または特色ある取組の場合は「◎」、通常業務の中での取組には「●」を記して下さい。

「富士・東部地域保健医療行動計画」に基づく **平成31年度の取組計画**

3 1 年度計画

所属名	国民健康保険 富士吉田市立病院	担当部署	管理課
-----	-----------------	------	-----

項目	内容	平成31年度の具体的取組	重点評価
在宅医療の推進	1 在宅での医療を選択できるしくみづくり（退院支援、日常の療養支援、急変時の対応、看取り含む）	・緩和ケア患者の在宅看取りの推進 ・がんサロンの設置（6月～開始予定） ・往診医との連携を図るためのフロー活用	●
	2 人材育成	・介護支援専門員、相談支援専門員の研修会への参加	●
	3 在宅医療に対する普及啓発	・市の広報を利用した活動 ・がんサロンの設置	●
（住 所 地） 自殺対策の推進	1 普及啓発	・研修会への参加	●
	2 地域の取り組み体制の強化		
	3 連携体制の強化		
	4 人材育成・相談体制の強化		
（ハ イ リ ス ク ） 自殺対策の推進	1 イメージアップ対策		
	2 水際対策		
	3 連携体制の強化		
	4 見守体制の強化		
（発 症 予 防） 生活習慣病の推進	1 早期発見、早期治療の推進及び重症化予防	富士吉田市国民健康保険の加入者を対象とした特定健康診査・脳ドック・人間ドック・がん検診等を協働して実施。	●
	2 発症予防（望ましい生活習慣）の推進		
	3 関係機関との連携体制強化及び協働した取組の推進		
感染症対策の強化	1 新型インフルエンザ等対策（重大感染症対策）	マニュアルの修正と追加（新型インフルエンザ等に対する診療継続行動計画（BCP）の見直し、部署別マニュアルの作成）	◎
	2 東京オリンピック・パラリンピック競技大会（東京大会）に向けての感染症対策	受け入れに関わる環境整備（空気感染隔離ユニットミニティ組み立て訓練実施（2回）、診察室の整備・必要衛生材料・物品の定期チェック	◎
災害時の医療体制整備	1 災害医療体制の現状把握と共有	災害拠点病院として有事に備えた備蓄確保に力をいれている。今年度は1万ℓの燃料タンク増設を計画しており、これにより4万ℓの燃料が確保出来る見込み。また、災害医療委員会を中心に定期的な実動訓練を実施しており、災害医療体制の強化を図っている。今後は、富士山噴火に備えた避難計画、受入れ病院の確保等の課題解決に向け、市・県・医師会との協力体制の構築を目指していく。	◎
	2 情報伝達・共有手段の普及	院内安否確認システムを利用し、迅速な情報伝達が行えるよう定期訓練を実施している。また、DMATを中心にEMIS活用教育にも取り組んでいる。	●
	3 市町村レベルの医療救護体制の整備	市安全対策課と情報共有に努め、担当者会議を実施していく。	●
	4 保健所の保健・医療調整機能の強化	保健所より医療救護班の派遣依頼があった場合、スムーズな派遣が行えるよう研修・訓練等を実施していく。	●
食品の安全確保対策	1 食中毒防止対策		
	2 HACCP方式の衛生管理の普及		

※ 重点評価欄には実施機関として重点的、または特色ある取組の場合は「◎」、通常業務の中での取組には「●」を記して下さい。

30年度実績

		所属名	都留市立病院	担当部署	総務企画課
項目	内容	平成30年度の取組実績			重点評価
在宅医療の推進	1 在宅での医療を選択できるしくみづくり（退院支援、日常の療養支援、急変時の対応、看取り含む）	市内開業医を対象に在宅IDを作成し電子カルテの利用を可能にした			
	2 人材育成	なし			
	3 在宅医療に対する普及啓発	なし			
（住所地） 自殺対策の推進	1 普及啓発	なし			
	2 地域の取り組み体制の強化				
	3 連携体制の強化				
	4 人材育成・相談体制の強化				
（ハイリスク地） 自殺対策の推進	1 イメージアップ対策	/			
	2 水際対策				
	3 連携体制の強化				
	4 見守体制の強化				
（発症予防・重症化予防） 生活習慣病対策の推進	1 早期発見、早期治療の推進及び重症化予防	2次検査の受診者に適正な対応を行った 糖尿病外来において、重症化予防を行っている			
	2 発症予防（望ましい生活習慣）の推進				
	3 関係機関との連携体制強化及び協働した取組の推進				
感染症対策の強化	1 新型インフルエンザ等対策（重大感染症対策）	感染症対策委員会を開催			
	2 東京オリンピック・パラリンピック競技大会（東京大会）に向けての感染症対策				
災害時体制整備の医療	1 災害医療体制の現状把握と共有	担当者会議への参加により、災害時対応策の情報共有や災害関係法令の知識を深めた EMISでの情報訓練を行った			
	2 情報伝達・共有手段の普及				
	3 市町村レベルの医療救護体制の整備				
	4 保健所の保健・医療調整機能の強化				
食品の安全確保対策	1 食中毒防止対策	/			
	2 HACCP方式の衛生管理の普及				

※ 重点評価欄には実施機関として重点的、または特色ある取組の場合は「◎」、通常業務の中での取組には「●」を記して下さい。

31年度計画

所属名	都留市立病院	担当部署	総務企画課
-----	--------	------	-------

項目	内容	平成31年度の具体的取組	重点評価
在宅医療の推進	1 在宅での医療を選択できるしくみづくり（退院支援、日常の療養支援、急変時の対応、看取り含む）	市内開業医を対象に在宅IDを作成し電子カルテの利用を可能にする	
	2 人材育成	なし	
	3 在宅医療に対する普及啓発	なし	
（住所地）自殺対策の推進	1 普及啓発	なし	
	2 地域の取り組み体制の強化		
	3 連携体制の強化		
	4 人材育成・相談体制の強化		
（ハイリスク地）自殺対策の推進	1 イメージアップ対策	/	
	2 水際対策		
	3 連携体制の強化		
	4 見守体制の強化		
（発症予防）生活習慣病対策の推進	1 早期発見、早期治療の推進及び重症化予防	2次検査の受診者に適正な対応を行う 糖尿病外来において、重症化予防を行う	
	2 発症予防（望ましい生活習慣）の推進		
	3 関係機関との連携体制強化及び協働した取組の推進		
感染症対策の強化	1 新型インフルエンザ等対策（重大感染症対策）	感染症対策委員会を開催	
	2 東京オリンピック・パラリンピック競技大会（東京大会）に向けての感染症対策		
災害体制の整備	1 災害医療体制の現状把握と共有	担当者会議への参加により、災害時対応策の情報共有や災害関係法令の知識を深める EMISでの情報訓練を行う	
	2 情報伝達・共有手段の普及		
	3 市町村レベルの医療救護体制の整備		
	4 保健所の保健・医療調整機能の強化		
食品の安全確保	1 食中毒防止対策	/	
	2 HACCP方式の衛生管理の普及		

※ 重点評価欄には実施機関として重点的、または特色ある取組の場合は「◎」、通常業務の中での取組には「●」を記して下さい。

「富士・東部地域保健医療行動計画」に基づく 平成30年度取組状況

30年度実績

		所属名	大月市立中央病院	担当部署	医事管理課
項目	内容	平成30年度の取組実績			重点評価
在宅医療の推進	1 在宅での医療を選択できるしくみづくり (退院支援、日常の療養支援、急変時の対応、看取り含む)	病棟・医療連携室にて退院支援。			●
	2 人材育成	特記なし			
	3 在宅医療に対する普及啓発				
(住所地) 自殺対策の推進	1 普及啓発				
	2 地域の取り組み体制の強化				
	3 連携体制の強化				
	4 人材育成・相談体制の強化				
(ハイリスク地) 自殺対策の推進	1 イメージアップ対策				
	2 水際対策				
	3 連携体制の強化				
	4 見守体制の強化				
(発症予防・重症化予防) 生活習慣病対策の推進	1 早期発見、早期治療の推進及び重症化予防	大月市の保健介護課と連携した住民健診の実施			●
	2 発症予防(望ましい生活習慣)の推進				
	3 関係機関との連携体制強化及び協働した取組の推進				
感染症対策の強化	1 新型インフルエンザ等対策(重大感染症対策)	全職員の風しん麻しん抗体価検査及び風しん予防接種実施。 医療職員のT-SPOT検査実施。			●
	2 東京オリンピック・パラリンピック競技大会(東京大会)に向けての感染症対策				
災害時体制の整備	1 災害医療体制の現状把握と共有	10月30日実施の大規模災害情報伝達訓練に参加し、EMIS入力の操作手順の整理をした。 7月17日、26日全職員対象の机上訓練研修でトリアージ法を訓練した。 11月1日の大月市防災訓練で患者受入、DMATの訓練参加、災害対策本部の立上げ、衛星電話の使用確認を行った。			◎
	2 情報伝達・共有手段の普及				
	3 市町村レベルの医療救護体制の整備				
	4 保健所の保健・医療調整機能の強化				
食品の安全確保	1 食中毒防止対策				
	2 HACCP方式の衛生管理の普及				

※ 重点評価欄には実施機関として重点的、または特色ある取組の場合は「◎」、通常業務の中での取組には「●」を記して下さい。

所属名	大月市立中央病院	担当部署	医事課・総務課
-----	----------	------	---------

項目	内容	平成31年度の具体的取組	重点評価
在宅医療の推進	1 在宅での医療を選択できるしくみづくり（退院支援、日常の療養支援、急変時の対応、看取り含む）		
	2 人材育成	訪問診療の体制づくりについて院内検討グループの立ち上げ。	●
	3 在宅医療に対する普及啓発		
（住所地）自殺対策の推進	1 普及啓発		
	2 地域の取り組み体制の強化		
	3 連携体制の強化		
	4 人材育成・相談体制の強化		
（ハイリスク地）自殺対策の推進	1 イメージアップ対策		
	2 水際対策		
	3 連携体制の強化		
	4 見守体制の強化		
（発症予防）生活習慣病対策の推進	1 早期発見、早期治療の推進及び重症化予防		
	2 発症予防（望ましい生活習慣）の推進	大月市の保健介護課と連携し、住民健診率のアップのための施策を検討。 特定保健指導を当日実施する。	●
	3 関係機関との連携体制強化及び協働した取組の推進		
感染症対策の強化	1 新型インフルエンザ等対策（重大感染症対策）		
	2 東京オリンピック・パラリンピック競技大会（東京大会）に向けての感染症対策		
災害体制の整備	1 災害医療体制の現状把握と共有		
	2 情報伝達・共有手段の普及		
	3 市町村レベルの医療救護体制の整備	大規模災害訓練や防災訓練への参加。 全職員対象の研修の実施。	◎
	4 保健所の保健・医療調整機能の強化		
食品の安全確保対策	1 食中毒防止対策		
	2 HACCP方式の衛生管理の普及		

※ 重点評価欄には実施機関として重点的、または特色ある取組の場合は「◎」、通常業務の中での取組には「●」を記して下さい。

「富士・東部地域保健医療行動計画」に基づく 平成30年度取組状況

30年度実績

		所属名	上野原市立病院	担当部署	事務部
項目	内容	平成30年度の取組実績			重点評価
在宅医療の推進	1 在宅での医療を選択できるしくみづくり（退院支援、日常の療養支援、急変時の対応、看取り含む）	多職種連携会議等の開催により、地域の開業医・ケアマネ等との情報共有を行う事で連携強化を図った。また、退院支援のためMSW 1名を補充した。			●
	2 人材育成	多職種連携強化等の研修会に参加した。			●
	3 在宅医療に対する普及啓発	上野原市の広報に掲載を依頼した。			●
（住所地）自殺対策の推進	1 普及啓発	受診時の問診・健診等を通じて、心の健康に関する普及を行う			●
	2 地域の取り組み体制の強化				
	3 連携体制の強化				
	4 人材育成・相談体制の強化				
（ハイリスク地）自殺対策の推進	1 イメージアップ対策				
	2 水際対策				
	3 連携体制の強化				
	4 見守体制の強化				
（発症予防・重症化予防）生活習慣病対策の推進	1 早期発見、早期治療の推進及び重症化予防	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月糖尿病教室を開催した。上野原市とは検診医療機関として協定を締結している。同様に、市内企業を検診医療機関として協定を締結している。 ・糖尿病教室の開催以外に、禁煙外来、管理栄養士による栄養指導も行った。 ・多職種連携の会等への参加により、情報共有や知識向上を図っている。 			●
	2 発症予防（望ましい生活習慣）の推進				
	3 関係機関との連携体制強化及び協働した取組の推進				
感染症対策の強化	1 新型インフルエンザ等対策（重大感染症対策）	関係医療機関とBCP計画に基づいた訓練を行う。			
	2 東京オリンピック・パラリンピック競技大会（東京大会）に向けての感染症対策				
災害時体制整備の医療	1 災害医療体制の現状把握と共有	災害・地震等を想定した防災・避難訓練の実施を行った。			●
	2 情報伝達・共有手段の普及				
	3 市町村レベルの医療救護体制の整備				
	4 保健所の保健・医療調整機能の強化				
食品の安全確保対策	1 食中毒防止対策	給食委託業者の衛生管理者が衛生管理について、2ヶ月に1回監査し、指導・助言を行った。また、委託業者に定期的に食品衛生に関する研修会等を開催した。			●
	2 HACCP方式の衛生管理の普及				

※ 重点評価欄には実施機関として重点的、または特色ある取組の場合は「◎」、通常業務の中での取組には「●」を記して下さい。

所属名	上野原市立病院	担当部署	事務部
-----	---------	------	-----

項目	内容	平成31年度の具体的取組	重点評価	
在宅医療の推進	1 在宅での医療を選択できるしくみづくり（退院支援、日常の療養支援、急変時の対応、看取り含む）	継続して多職種連携会議等の開催により、地域の開業医・ケアマネ等との情報共有を行う事で連携強化を図る。		
	2 人材育成	多職種連携強化等の研修会に参加する。		
	3 在宅医療に対する普及啓発	上野原市の広報等に掲載を依頼する。		
（住所地） 自殺対策の推進	1 普及啓発	問診・健診等を通じて、心の健康に関する普及活動を行う		
	2 地域の取り組み体制の強化			
	3 連携体制の強化			
	4 人材育成・相談体制の強化			
（ハイリスク地） 自殺対策の推進	1 イメージアップ対策			
	2 水際対策			
	3 連携体制の強化			
	4 見守体制の強化			
（発症予防） 生活習慣病対策の推進	1 早期発見、早期治療の推進及び重症化予防	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月糖尿病教室を開催する。継続して上野原市と検診医療機関として協定を締結する。同様に、市内企業を検診医療機関として協定を締結する。 ・糖尿病教室の開催以外に、禁煙外来、管理栄養士による栄養指導を行う。 ・多職種連携の会等への参加により、情報共有や知識向上を図る。 		
	2 発症予防（望ましい生活習慣）の推進			
	3 関係機関との連携体制強化及び協働した取組の推進			
感染症対策の強化	1 新型インフルエンザ等対策（重大感染症対策）	関係医療機関とBCP計画に基づいた訓練を行う。		
	2 東京オリンピック・パラリンピック競技大会（東京大会）に向けての感染症対策			
災害時体制の整備	1 災害医療体制の現状把握と共有	災害・地震等を想定した防災・避難訓練の実施を行う。		
	2 情報伝達・共有手段の普及			
	3 市町村レベルの医療救護体制の整備			市と救護体制整備の為、訓練等を重ねる。
	4 保健所の保健・医療調整機能の強化			県・3市合同等主催の訓練に参加する。
食品の安全確保対策	1 食中毒防止対策	給食委託業者の衛生管理者が衛生管理について、2ヶ月に1回監査し、指導・助言を行う。また、委託業者に定期的に食品衛生に関する研修会等を開催する。		
	2 HACCP方式の衛生管理の普及			HACCPによる衛生管理に関する普及推進、制度化、技術助言のための検討会を開催する。

※ 重点評価欄には実施機関として重点的、または特色ある取組の場合は「◎」、通常業務の中での取組には「●」を記して下さい。

「富士・東部地域保健医療行動計画」に基づく 平成30年度取組状況

30年度実績

		所属名	富士吉田医師会	担当部署	
項目	内容	平成30年度の取組実績			重点評価
在宅医療の推進	1 在宅での医療を選択できるしくみづくり（退院支援、日常の療養支援、急変時の対応、看取り含む）	市町村の在宅医療・介護連携推進委員会など在宅医療に関する委員会等への協力、連携を図った。			●
	2 人材育成	各種研修会を会員に周知を図り、多職種との連携を図った。			●
	3 在宅医療に対する普及啓発	山梨県医師会等からの情報を周知し、会員間の情報共有を図り普及啓発に取り組んだ。			●
（住所地） 自殺対策の推進	1 普及啓発	特になし			
	2 地域の取り組み体制の強化				
	3 連携体制の強化				
	4 人材育成・相談体制の強化				
（ハイリスク地） 自殺対策の推進	1 イメージアップ対策	特になし			
	2 水際対策				
	3 連携体制の強化				
	4 見守体制の強化				
（発症予防） 生活習慣病対策の推進	1 早期発見、早期治療の推進及び重症化予防	糖尿病対策については、富士吉田医師会で開発した透析予防支援システムの運用を図り、「富士北麓糖尿病医療連携の会」及び富士北麓市町村と協力・連携体制を進め、糖尿病性腎症重症化予防事業へ取り組んだ。			◎
	2 発症予防（望ましい生活習慣）の推進	会員間の連携を図りながら各診療所において適切な指導等を行い発症予防の推進を図った。			
	3 関係機関との連携体制強化及び協働した取組の推進	富士北麓糖尿病医療連携の会及び富士北麓市町村と協力・連携体制をより一層進め、糖尿病などの対策への取り組みを図った。			
感染症対策の強化	1 新型インフルエンザ等対策（重大感染症対策）	作業部会へ参加し、外来・入院の医療体制についての富士・東部地区のルール策定に参画した。			●
	2 東京オリンピック・パラリンピック競技大会（東京大会）に向けての感染症対策	特になし			
災害時体制整備の医療	1 災害医療体制の現状把握と共有	大規模災害情報伝達訓練を通じ、EMIS等により災害の情報収集、提供体制を検証し、県、市町村と連携を図った。			●
	2 情報伝達・共有手段の普及				
	3 市町村レベルの医療救護体制の整備				
	4 保健所の保健・医療調整機能の強化				
食品の安全確保対策	1 食中毒防止対策	特になし			
	2 HACCP方式の衛生管理の普及	特になし			

※ 重点評価欄には実施機関として重点的、または特色ある取組の場合は「◎」、通常業務の中での取組には「●」を記して下さい。

		所属名	富士吉田医師会	担当部署	
項目	内容	平成31年度の具体的取組			重点評価
在宅医療の推進	1 在宅での医療を選択できるしくみづくり（退院支援、日常の療養支援、急変時の対応、看取り含む）	市町村の在宅医療・介護連携推進委員会など在宅医療に関する委員会等への協力、連携及び会員間の協力、連携を図りながら、在宅医療に対応する			●
	2 人材育成	各種研修会を会員に周知を図るとともに様々な研究会等において多職種との連携を図り人材育成に取り組む。			●
	3 在宅医療に対する普及啓発	市町村との連携充実を推進するとともに、山梨県医師会等からの在宅医療に関する情報を会員間の情報共有を図り、普及啓発に取り組む。			●
（住所地） 自殺対策の推進	1 普及啓発	特になし			
	2 地域の取り組み体制の強化				
	3 連携体制の強化	特になし			
	4 人材育成・相談体制の強化				
（ハイリスク地） 自殺対策の推進	1 イメージアップ対策	特になし			
	2 水際対策				
	3 連携体制の強化				
	4 見守体制の強化				
（発症予防） 生活習慣病対策の推進	1 早期発見、早期治療の推進及び重症化予防	糖尿病対策については、富士吉田医師会で開発した透析予防支援システムの運用を図り、「富士北麓糖尿病医療連携の会」及び富士北麓市町村と協力・連携体制を進め、糖尿病性腎症重症化予防事業への取り組みを図っていく。			◎
	2 発症予防（望ましい生活習慣）の推進	会員間の連携を図りながら各診療所において適切な指導等を行い発症予防の推進を図っていく。			
	3 関係機関との連携体制強化及び協働した取組の推進	富士北麓糖尿病医療連携の会及び富士北麓市町村と協力・連携体制をより一層進め、糖尿病などの対策への取り組みを図っていく。			
感染症対策の強化	1 新型インフルエンザ等対策（重大感染症対策）	作業部会へ参加し、外来・入院の医療体制についての富士・東部地区のルール策定に参画する。			●
	2 東京オリンピック・パラリンピック競技大会（東京大会）に向けての感染症対策	特になし			
災害体制時整備の医療	1 災害医療体制の現状把握と共有	大規模災害情報伝達訓練を通じ、EMIS等により災害の情報収集、提供体制を検証し、県、市町村と連携を図っていく。			●
	2 情報伝達・共有手段の普及				
	3 市町村レベルの医療救護体制の整備	県、市町村と連携し救護所への救護班派遣協力を図っていく。			
	4 保健所の保健・医療調整機能の強化				
食品の安全確保対策	1 食中毒防止対策	特になし			
	2 HACCP方式の衛生管理の普及	特になし			

※ 重点評価欄には実施機関として重点的、または特色ある取組の場合は「◎」、通常業務の中での取組には「●」を記して下さい。

30年度実績

		所属名	都留医師会	担当部署	
項目	内容	平成30年度の取組実績			重点評価
在宅医療の推進	1 在宅での医療を選択できるしくみづくり（退院支援、日常の療養支援、急変時の対応、看取り含む）	各医療機関が在宅医療実行医療機関との連携を強める 大病院では在宅支援室の整備 相談スタッフの充実をはかる 退院後の患者に対するフォローの充実			●
	2 人材育成	各医療機関および訪問看護ステーション等にて個別励行			●
	3 在宅医療に対する普及啓発	各医療機関にて在宅医療の相談 他の医療機関への紹介			●
（住所地） 自殺対策の推進	1 普及啓発	自殺防止ポスター等の院内掲示 自殺予防電話相談の周知			●
	2 の把握				
	3 連携体制の強化	うつ患者の把握 行政との相談 相談機関やスタッフの紹介			
	4 人材育成・相談体制の強化				
（ハイリスク地） 自殺対策の推進	1 イメージアップ対策	行政への協力			●
	2 水際対策				
	3 連携体制の強化				
	4 見守体制の強化				
（発症予防・重症化予防） 生活習慣病対策の推進	1 早期発見、早期治療の推進及び重症化予防	市町村健診 特定健診 会社健診等の受診の奨励 健診等で指摘された患者の早期治療開始 通院患者に対する生活指導 発症予防教育			●
	2 発症予防（望ましい生活習慣）の推進				
	3 関係機関との連携体制強化及び協働した取組の推進				
感染症対策の強化	1 新型インフルエンザ等対策（重大感染症対策）	新型インフルエンザ等対策会議の内容を各医療機関へ周知 医師会で対策検討			●
	2 東京オリンピック・パラリンピック競技大会（東京大会）に向けての感染症対策	定例会で対策を検討中			
災害時体制整備の医療	1 災害医療体制の現状把握と共有	医療機関の点呼 各医師個人の携帯電話の連絡網の構築 医師会事務が中心となって情報の伝達 共有を行う 各避難所 救護所での医療体制整備に協力 医師派遣 EMIS等を利用した 情報共有 医療調整機能強化			●
	2 情報伝達・共有手段の普及				
	3 市町村レベルの医療救護体制の整備				
	4 保健所の保健・医療調整機能の強化				
食品の安全確保対策	1 食中毒防止対策				
	2 HACCP方式の衛生管理の普及				

※ 重点評価欄には実施機関として重点的、または特色ある取組の場合は「◎」、通常業務の中での取組には「●」を記して下さい。

31年度計画

		所属名	都留医師会	担当部署				
項目	内容	平成31年度の具体的取組			重点評価			
在宅医療の推進	1 在宅での医療を選択できるしくみづくり（退院支援、日常の療養支援、急変時の対応、看取り含む）	30年度と同 各医療機関が在宅医療実行医療機関との連携を強める 大病院では在宅支援室の整備や相談スタッフを充実させる 退院後の患者に対するフォローの充実			●			
	2 人材育成	30年度と同 各医療機関及び訪問看護ステーション等にて個別に励行			●			
	3 在宅医療に対する普及啓発	30年度と同 各医療機関にて在宅医療の相談 他の医療機関への紹介			●			
（住所地） 自殺対策の推進	1 普及啓発	30年度と同 自殺防止ポスター等の院内掲示 自殺予防電話相談の周知			●			
	2 地域の取り組み体制の強化							
	3 連携体制の強化	30年度と同 うつ患者の把握 行政との相談 相談機関やスタッフの紹介						
	4 人材育成・相談体制の強化							
（ハイリスク地） 自殺対策の推進	1 イメージアップ対策	30年度と同 行政への協力			●			
	2 水際対策							
	3 連携体制の強化							
	4 見守体制の強化							
（発症予防） 生活習慣病対策の推進	1 早期発見、早期治療の推進及び重症化予防	30年度と同 市町村健診 特定健診 会社健診等の受診の奨励 健診等で指摘された患者の早期治療開始 通院患者に対する生活指導 発症予防教育			●			
	2 発症予防（望ましい生活習慣）の推進							
	3 関係機関との連携体制強化及び協働した取組の推進							
感染症対策の強化	1 新型インフルエンザ等対策（重大感染症対策）	30年度と同 新型インフルエンザ等対策会議の内容を各医療機関へ周知 医師会で対策を検討			●			
	2 東京オリンピック・パラリンピック競技大会（東京大会）に向けての感染症対策	定例会で対策検討						
災害時体制の整備	1 災害医療体制の現状把握と共有	各医療機関の点呼 有事は医師会事務が連絡の中心となる			●			
	2 情報伝達・共有手段の普及							
	3 市町村レベルの医療救護体制の整備					各避難所 救護所に医師の配置をする		
	4 保健所の保健・医療調整機能の強化					EMIS利用		
食品の安全確保対策	1 食中毒防止対策							
	2 HACCP方式の衛生管理の普及							

※ 重点評価欄には実施機関として重点的、または特色ある取組の場合は「◎」、通常業務の中での取組には「●」を記して下さい。

「富士・東部地域保健医療行動計画」に基づく 平成30年度取組状況

30年度実績

		所属名	北都留医師会	担当部署	
項目	内容	平成30年度の取組実績			重点評価
在宅医療の推進	1 在宅での医療を選択できるしくみづくり（退院支援、日常の療養支援、急変時の対応、看取り含む）	上野原地区：在宅専門医を中心として、開業医や市立病院のとの密な連携もあり、既に在宅医療は地域内での選択肢として十分に機能しているといえる。MCSを利用した多職種連携も進んでいる。 大月地区：富士厚生クリニックの古藤医師が主に在宅医療を行っている。各医療機関では、往診で対応しているケースもある。			◎
	2 人材育成	上野原地区：顔の見える連携を目指し、関連研修会も定期的に開催しており、医師会も積極的に協力している。医師、歯科医師、訪問看護、薬剤師、ケアマネージャー、訪問マッサージ等の2職種間による二次連携グループを10種ほど立ち上げて問題解決に取り組んでおり、多職種の支援体制も整ってきた。 大月地区：上野原地区の上條医師と連携して、研修会などに参加している。			●
	3 在宅医療に対する普及啓発	上野原地区：上條医師を中心に社協とも協力して、地域集会所などで在宅医療にかかわる専門職による「出前講座」を15回開催した。桂川フェスティバルなどのイベントに参加し行政と共に広報活動を行った。 大月地区：特になし			◎
（住所地） 自 殺 対 策 の 推 進	1 普及啓発	大月市自殺対策推進計画策定への協力 特になし			●
	2 地域の取り組み体制の強化				
	3 連携体制の強化				
	4 人材育成・相談体制の強化				
（ハイリスク地） 自 殺 対 策 の 推 進	1 イメージアップ対策	特になし			
	2 水際対策				
	3 連携体制の強化				
	4 見守体制の強化				
（発症予防・重症化予防） 生 活 習 慣 病 対 策 の 推 進	1 早期発見、早期治療の推進及び重症化予防	上野原地区：病診連携の推進 大月地区：住民健診、特定健診の周知徹底を図っている。大月市立中央病院の健診センターと連携している。			●
	2 発症予防（望ましい生活習慣）の推進				
	3 関係機関との連携体制強化及び協働した取組の推進				
感 染 症 対 策 の 強 化	1 新型インフルエンザ等対策（重大感染症対策）	地域内事業継続計画（BCP）の策定に着手した			●
	2 東京オリンピック・パラリンピック競技大会（東京大会）に向けての感染症対策	地域内事業継続計画（BCP）の策定に着手した			
災 害 時 の 医 療 体 整 備	1 災害医療体制の現状把握と共有	上野原地区：市内各地区にある消防団の無線を利用した市内全域の速やかな情報収集を優先し、臨機応変に対応を考える方向で検討中。 大月地区：メーリングリストやFAXの利用			◎
	2 情報伝達・共有手段の普及				
	3 市町村レベルの医療救護体制の整備	上野原地区：昼夜や曜日により地域内医師数が激変するため、発災後に地域情報を収集しながら臨機応変に対応を考える。地域毎の医療資源について情報を整理する。 大月地区：大月地区と猿橋地区で救護所体制をとることになっている。			
	4 保健所の保健・医療調整機能の強化	訓練があれば参加する。			
保 安 食 対 全 品 策 確 の	1 食中毒防止対策	特になし			
	2 HACCP方式の衛生管理の普及	特になし			

※ 重点評価欄には実施機関として重点的、または特色ある取組の場合は「◎」、通常業務の中での取組には「●」を記して下さい。

「富士・東部地域保健医療行動計画」に基づく **平成31年度の取組計画**

31年度計画

		所属名	北都留医師会	担当部署	
項目	内容	平成31年度の具体的取組			重点評価
在宅医療の推進	1 在宅での医療を選択できるしくみづくり（退院支援、日常の療養支援、急変時の対応、看取り含む）	上野原地区：かかりつけ医と在宅医と一緒に患者さんのケアをしていく仕組みづくりに取り組むとともに、在宅医療を行う医師グループの構築に向け、議論を深める。 大月地区：富士厚生クリニックの古藤医師が主に在宅医療を行なう。他医療機関の参加を促していく。			◎
	2 人材育成	上野原地区：これまでの取り組みを継続し、多職種の密な関係づくりや在宅医の底上げに取り組む。市内の顔の見える連携を目指した関連研修会を定期的に開催し、参加を呼びかけていく。 大月地区：研修会などに参加していく。			◎
	3 在宅医療に対する普及啓発	上野原地区：地域ケア会議の地域づくり部会とも協力し、在宅医療にかかわる専門職による地域での「出前講座」を継続する。在宅医療に関連した勉強会の開催、桂川フェスティバルなどのイベントでの広報活動への協力なども継続して取り組む。 大月地区：各医療機関で対応していく。			◎
（住所地） 自殺対策の推進	1 普及啓発	大月地区：大月市自殺対策推進計画に協力する。 上野原地区：特になし			●
	2 地域の取り組み体制の強化				
	3 連携体制の強化	特になし			
	4 人材育成・相談体制の強化				
（ハイリスク地） 自殺対策の推進	1 イメージアップ対策	特になし			
	2 水際対策				
	3 連携体制の強化				
	4 見守体制の強化				
（発症予防） 生活習慣病対策の推進	1 早期発見、早期治療の推進及び重症化予防	北都留医師会：早期の患者が定期的経過観察から脱落しにくいような医師の説明方法を考えていく。 上野原地区：行政の広報活動に積極的に協力する。健診にで問題のあった方々に対し早期に介入することができないか検討する。 CKD、糖尿病医療連携、歯周病と生活習慣病の関連（医科歯科連携）等の勉強会に積極的に参加し協力する。 大月地区：住民健診、特定健診の周知徹底を図っていく。大月市立中央病院の健診センターと連携していく。			◎
	2 発症予防（望ましい生活習慣）の推進				
	3 関係機関との連携体制強化及び協働した取組の推進				
感染症対策の強化	1 新型インフルエンザ等対策（重大感染症対策）	地域内事業継続計画（BCP）の策定を完了する。致死性感染症については無資格スタッフの保護にも配慮する。			◎
	2 東京オリンピック・パラリンピック競技大会（東京大会）に向けての感染症対策	地域内事業継続計画（BCP）の策定を完了する。致死性感染症については無資格スタッフの保護にも配慮する。			◎
災害時の医療体制整備	1 災害医療体制の現状把握と共有	上野原地区：市内各地区にある消防団の無線を利用した市内全域の速やかな情報収集を優先し、臨機応変に対応を考える方向での市の取り組みに協力していく。 大月地区：メーリングリストやFAXの利用			◎
	2 情報伝達・共有手段の普及				
	3 市町村レベルの医療救護体制の整備	上野原地区：昼夜や曜日により地域内医師数・医療職数・住民構成が激変するため、発災後に地域情報を収集しながら臨機応変に対応できる体制づくりを考えていく。地域毎の医療資源について情報を整理する。 大月地区：大月地区と猿橋地区で救護所体制をとる。			
	4 保健所の保健・医療調整機能の強化	訓練があれば参加する。			
保安食対全品策確の	1 食中毒防止対策	特になし			
	2 HACCP方式の衛生管理の普及	特になし			

※ 重点評価欄には実施機関として重点的、または特色ある取組の場合は「◎」、通常業務の中での取組には「●」を記して下さい。

30年度実績

		所属名	南都留歯科医師会	担当部署	
項目	内容	平成30年度の取組実績			重点評価
在宅医療の推進	1 在宅での医療を選択できるしくみづくり（退院支援、日常の療養支援、急変時の対応、看取り含む）	H22.10 山梨県歯科医師会 山梨口腔保健センター内に「在宅歯科医療連携室」の設置 富士・東部地域の在宅歯科の相談及び訪問歯科の紹介			◎
	2 人材育成	山梨県歯科医師会において、口腔ケアを含む研修会（4回） 院内感染医療安全に関する研修会（2回） 高齢者食支援に関する研修会（3回）			◎
	3 在宅医療に対する普及啓発	<ul style="list-style-type: none"> ・チラシ、ポスターの配布 ・県歯科医師会HP、市町村等HP ・各診療所パンフレット配布 			◎
（住所地） 自殺対策の推進	1 普及啓発				
	2 地域の取り組み体制の強化				
	3 連携体制の強化				
	4 人材育成・相談体制の強化				
（ハイリスク地） 自殺対策の推進	1 イメージアップ対策				
	2 水際対策				
	3 連携体制の強化				
	4 見守体制の強化				
（発症予防・重症化予防） 生活習慣病対策の推進	1 早期発見、早期治療の推進及び重症化予防	<ul style="list-style-type: none"> ・市町村による歯周病検診の実施 ・各診療所においての啓蒙・啓発 			◎
	2 発症予防（望ましい生活習慣）の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・かかりつけ歯科による年2～3回歯科受診 ・糖尿病医科歯科事業による連携体制の強化 			
	3 関係機関との連携体制強化及び協働した取組の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・住民向けの研修会の開催 			
感染症対策の強化	1 新型インフルエンザ等対策（重大感染症対策）	各診療所での院内感染防止の勉強会等の実施			●
	2 東京オリンピック・パラリンピック競技大会（東京大会）に向けての感染症対策				
災害時体制整備の医療	1 災害医療体制の現状把握と共有				
	2 情報伝達・共有手段の普及				
	3 市町村レベルの医療救護体制の整備				
	4 保健所の保健・医療調整機能の強化				
食品の安全確保対策	1 食中毒防止対策				
	2 HACCP方式の衛生管理の普及				

※ 重点評価欄には実施機関として重点的、または特色ある取組の場合は「◎」、通常業務の中での取組には「●」を記して下さい。

31年度計画

		所属名	南都留歯科医師会	担当部署	
項目	内容	平成31年度の具体的取組			重点評価
在宅医療の推進	1 在宅での医療を選択できるしくみづくり（退院支援、日常の療養支援、急変時の対応、看取り含む）	在宅歯科医療連携室において、富士・東部地域の在宅歯科相談と歯科の紹介			◎
	2 人材育成	山梨県歯科医師会にて（予定） 口腔ケア等の研修 4回 院内感染、安全の研修 2回 高齢者食支援の研修 2回 日本老年者歯科学会にて、嚥下研修コースへの参加			◎
	3 在宅医療に対する普及啓発	<ul style="list-style-type: none"> ・チラシ、ポスターの配布 ・県歯科医師会HP、市町村等HPの掲載 ・各診療所パンフレット、ポスター配布 			◎
（住所地） 自殺対策の推進	1 普及啓発				
	2 地域の取り組み体制の強化				
	3 連携体制の強化				
	4 人材育成・相談体制の強化				
（ハイリスク地） 自殺対策の推進	1 イメージアップ対策				
	2 水際対策				
	3 連携体制の強化				
	4 見守体制の強化				
（発症予防） 生活習慣病対策の推進	1 早期発見、早期治療の推進及び重症化予防	<ul style="list-style-type: none"> ・市町村による歯周病検診、妊産婦歯周病検診、後期高齢者医療歯科検診の実施 ・各診療所における啓蒙・啓発。 2～3回/年の検診による実態把握と指導 ・口腔ガン早期発見センター（NP0）での口腔ガン検診の研修 ・専門医のいるHPとの連携 ・糖尿病医科歯科事業による連携の強化 			◎
	2 発症予防（望ましい生活習慣）の推進				
	3 関係機関との連携体制強化及び協働した取組の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・住民向けの研修会の開催 			
感染症対策の強化	1 新型インフルエンザ等対策（重大感染症対策）	各診療所での院内感染防止の勉強会等の実施			●
	2 東京オリンピック・パラリンピック競技大会（東京大会）に向けての感染症対策				
災害体制時の医療整備	1 災害医療体制の現状把握と共有				
	2 情報伝達・共有手段の普及				
	3 市町村レベルの医療救護体制の整備				
	4 保健所の保健・医療調整機能の強化				
食品の安全確保対策	1 食中毒防止対策				
	2 HACCP方式の衛生管理の普及				

※ 重点評価欄には実施機関として重点的、または特色ある取組の場合は「◎」、通常業務の中での取組には「●」を記して下さい。

「富士・東部地域保健医療行動計画」に基づく 平成30年度取組状況

30年度実績

		所属名	富士五湖消防本部	担当部署	警防課
項目	内容	平成30年度の取組実績			重点評価
在宅医療の推進	1 在宅での医療を選択できるしくみづくり (退院支援、日常の療養支援、急変時の対応、看取り含む)				
	2 人材育成				
	3 在宅医療に対する普及啓発				
(住所地) 自殺対策の推進	1 普及啓発				
	2 地域の取り組み体制の強化				
	3 連携体制の強化				
	4 人材育成・相談体制の強化				
(ハイリスク地) 自殺対策の推進	1 イメージアップ対策				
	2 水際対策				
	3 連携体制の強化				
	4 見守体制の強化				
(発症予防・重症化予防) 生活習慣病対策の推進	1 早期発見、早期治療の推進及び重症化予防				
	2 発症予防(望ましい生活習慣)の推進				
	3 関係機関との連携体制強化及び協働した取組の推進				
感染症対策の強化	1 新型インフルエンザ等対策(重大感染症対策)	富士五湖消防本部新型インフルエンザ等対策業務継続計画に基づく活動			●
	2 東京オリンピック・パラリンピック競技大会(東京大会)に向けての感染症対策				
災害時体制整備の医療	1 災害医療体制の現状把握と共有				
	2 情報伝達・共有手段の普及				
	3 市町村レベルの医療救護体制の整備				
	4 保健所の保健・医療調整機能の強化				
食品の安全確保対策	1 食中毒防止対策				
	2 HACCP方式の衛生管理の普及				

※ 重点評価欄には実施機関として重点的、または特色ある取組の場合は「◎」、通常業務の中での取組には「●」を記して下さい。

所属名	富士五湖消防本部	担当部署	警防課
-----	----------	------	-----

項目	内容	平成31年度の具体的取組	重点評価
在宅医療の推進	1 在宅での医療を選択できるしくみづくり（退院支援、日常の療養支援、急変時の対応、看取り含む）		
	2 人材育成		
	3 在宅医療に対する普及啓発		
（住所地） 自殺対策の推進	1 普及啓発		
	2 地域の取り組み体制の強化		
	3 連携体制の強化		
	4 人材育成・相談体制の強化		
（ハイリスク地） 自殺対策の推進	1 イメージアップ対策		
	2 水際対策		
	3 連携体制の強化		
	4 見守体制の強化		
（発症予防） 生活習慣病対策の推進	1 早期発見、早期治療の推進及び重症化予防		
	2 発症予防（望ましい生活習慣）の推進		
	3 関係機関との連携体制強化及び協働した取組の推進		
感染症対策の強化	1 新型インフルエンザ等対策（重大感染症対策）	富士五湖消防本部新型インフルエンザ等対策業務継続計画に基づく活動	●
	2 東京オリンピック・パラリンピック競技大会（東京大会）に向けての感染症対策		
災害時体制の整備	1 災害医療体制の現状把握と共有		
	2 情報伝達・共有手段の普及		
	3 市町村レベルの医療救護体制の整備		
	4 保健所の保健・医療調整機能の強化		
食品の安全確保	1 食中毒防止対策		
	2 HACCP方式の衛生管理の普及		

※ 重点評価欄には実施機関として重点的、または特色ある取組の場合は「◎」、通常業務の中での取組には「●」を記して下さい。

「富士・東部地域保健医療行動計画」に基づく 平成30年度取組状況

30年度実績

		所属名	山梨県看護協会 富士・東部地区支部	担当部署	
項目	内容	平成30年度の取組実績			重点評価
在宅医療の推進	1 在宅での医療を選択できるしくみづくり（退院支援、日常の療養支援、急変時の対応、看取り含む）	退院支援マネジメント研修の実施： テーマ『住み慣れた我が家で最後まで暮らし続けるために 本人・家族へのアプローチ』			◎
	2 人材育成	<ul style="list-style-type: none"> 看護協会教育研修：退院支援研修の実施 富士東部地区支部：摂食・嚥下、口腔ケア研修の実施 県からの委託、看護協会にてトータル・サポート マネージャーの養成 山梨県看護協会：訪問看護師養成・育成研修の実施 			◎
	3 在宅医療に対する普及啓発	山梨県看護協会、訪問看護ステーション連絡協議会：住民対象の普及啓発講演会の実施			◎
（住所在地） 自殺対策の推進	1 普及啓発				
	2 地域の取り組み体制の強化				
	3 連携体制の強化				
	4 人材育成・相談体制の強化				
（ハイリスク地） 自殺対策の推進	1 イメージアップ対策				
	2 水際対策				
	3 連携体制の強化				
	4 見守体制の強化				
（発症予防・重症化予防） 生活習慣病対策の推進	1 早期発見、早期治療の推進及び重症化予防				
	2 発症予防（望ましい生活習慣）の推進				
	3 関係機関との連携体制強化及び協働した取組の推進				
感染症対策の強化	1 新型インフルエンザ等対策（重大感染症対策）	感染対策研修の実施：外国人観光客が持ち込む感染症について			
	2 東京オリンピック・パラリンピック競技大会（東京大会）に向けての感染症対策				
災害時体制の整備	1 災害医療体制の現状把握と共有				
	2 情報伝達・共有手段の普及				
	3 市町村レベルの医療救護体制の整備				
	4 保健所の保健・医療調整機能の強化				
食品の安全確保対策	1 食中毒防止対策				
	2 HACCP方式の衛生管理の普及				

※ 重点評価欄には実施機関として重点的、または特色ある取組の場合は「◎」、通常業務の中での取組には「●」を記して下さい。

所属名	山梨県看護協会 富士・東部地区支部	担当部署	
-----	----------------------	------	--

項目	内容	平成31年度の具体的取組	重点評価
在宅医療の推進	1 在宅での医療を選択できるしくみづくり（退院支援、日常の療養支援、急変時の対応、看取り含む）	退院支援マネジメント研修：医療と介護の連携強化など	◎
	2 人材育成	富士東部地区支部研修：摂食・嚥下、口腔ケア研修 地域包括ケアシステム構築に関する研修 トータルサポートマネージャの活動推進	◎
	3 在宅医療に対する普及啓発	関係機関との連携、健康まつりや看護大学学園祭など、地域公開の場への協力	◎
（住所地）自殺対策の推進	1 普及啓発		
	2 地域の取り組み体制の強化		
	3 連携体制の強化		
	4 人材育成・相談体制の強化		
（ハイリスク地）自殺対策の推進	1 イメージアップ対策		
	2 水際対策		
	3 連携体制の強化		
	4 見守体制の強化		
（発症予防）生活習慣病対策の推進	1 早期発見、早期治療の推進及び重症化予防		
	2 発症予防（望ましい生活習慣）の推進		
	3 関係機関との連携体制強化及び協働した取組の推進		
感染症対策の強化	1 新型インフルエンザ等対策（重大感染症対策）		
	2 東京オリンピック・パラリンピック競技大会（東京大会）に向けての感染症対策		
災害体制時の医療整備	1 災害医療体制の現状把握と共有		
	2 情報伝達・共有手段の普及		
	3 市町村レベルの医療救護体制の整備		
	4 保健所の保健・医療調整機能の強化		
食品の安全確保対策	1 食中毒防止対策		
	2 HACCP方式の衛生管理の普及		

※ 重点評価欄には実施機関として重点的、または特色ある取組の場合は「◎」、通常業務の中での取組には「●」を記して下さい。

「富士・東部地域保健医療行動計画」に基づく 平成30年度取組状況

30年度実績

		所属名	富士五湖薬剤師会	担当部署	
項目	内容	平成30年度の取組実績			重点評価
在宅医療の推進	1 在宅での医療を選択できるしくみづくり（退院支援、日常の療養支援、急変時の対応、看取り含む）	<ul style="list-style-type: none"> ・在宅医療広域連携会議に出席し、急変時対応及び看取りに関する対策を検討（2回） ・富士河口湖町在宅医療推進協議会に出席し、地域ケアシステムに向けての課題を検討（4回） 			◎
	2 人材育成	<ul style="list-style-type: none"> ・富士五湖薬剤師会にて在宅医療委員会を設置し多職種連携に向けての検討（12回） ・訪看・ケアマネとの情報交換（2回） ・在宅医療と看取り研修会開催（H30.11.8） 			◎
	3 在宅医療に対する普及啓発	<ul style="list-style-type: none"> ・富士五湖薬剤師会薬局相談窓口リストを作成し、訪問看護ステーション・居宅介護支援事業所・在宅医療広域連携会議・富士河口湖町在宅医療推進協議会に配布 ・富士河口湖町在宅フォーラムの企画支援を実施 			◎
（住所地） 自殺対策の推進	1 普及啓発	<ul style="list-style-type: none"> ・うつ病・うつ状態における治療・研修会を開催（H30.7.19） 			●
	2 地域の取り組み体制の強化				
	3 連携体制の強化				
	4 人材育成・相談体制の強化				
（ハイリスク地） 自殺対策の推進	1 イメージアップ対策				
	2 水際対策				
	3 連携体制の強化				
	4 見守体制の強化				
（発症予防・重症化予防） 生活習慣病の推進対策	1 早期発見、早期治療の推進及び重症化予防				
	2 発症予防（望ましい生活習慣）の推進				
	3 関係機関との連携体制強化及び協働した取組の推進				
感染症対策の強化	1 新型インフルエンザ等対策（重大感染症対策）				
	2 東京オリンピック・パラリンピック競技大会（東京大会）に向けての感染症対策				
災害時整備の医療体制の確保	1 災害医療体制の現状把握と共有	<ul style="list-style-type: none"> ・大規模災害時訓練を実施（H30.9.4） 課題：市町村と連携をとる為にも防災対策本部の設置場所・担当者等の事前打ち合わせが必要 ・在宅酸素療法での災害対策研修会開催（H30.11.29） 			●
	2 情報伝達・共有手段の普及				
	3 市町村レベルの医療救護体制の整備				
	4 保健所の保健・医療調整機能の強化				
食品の安全確保対策	1 食中毒防止対策				
	2 HACCP方式の衛生管理の普及				

※ 重点評価欄には実施機関として重点的、または特色ある取組の場合は「◎」、通常業務の中での取組には「●」を記して下さい。

31年度計画

所属名	富士五湖薬剤師会	担当部署	
-----	----------	------	--

項目	内容	平成31年度の具体的取組	重点評価
在宅医療の推進	1 在宅での医療を選択できるしくみづくり（退院支援、日常の療養支援、急変時の対応、看取り含む）	・在宅医療広域連携会議に出席し課題の検討	●
	2 人材育成	・富士河口湖町在宅医療推進協議会担当者の変更及び協議会へ出席し取組を支援	●
	3 在宅医療に対する普及啓発	・富士河口湖町広報への掲載 ・富士河口湖町在宅フォーラム取組を支援	◎
（住所地） 自殺対策の推進	1 普及啓発		
	2 地域の取り組み体制の強化		
	3 連携体制の強化		
	4 人材育成・相談体制の強化		
（ハイリスク地） 自殺対策の推進	1 イメージアップ対策		
	2 水際対策		
	3 連携体制の強化		
	4 見守体制の強化		
（発症予防・重症化予防） 生活習慣病の推進対策	1 早期発見、早期治療の推進及び重症化予防	・会員薬局薬剤師と社会福祉協議会が協働し、地域住民への研修会開催	●
	2 発症予防（望ましい生活習慣）の推進		
	3 関係機関との連携体制強化及び協働した取組の推進		
感染症対策の強化	1 新型インフルエンザ等対策（重大感染症対策）		
	2 東京オリンピック・パラリンピック競技大会（東京大会）に向けての感染症対策		
災害体制の整備 医療	1 災害医療体制の現状把握と共有	・大規模災害時訓練の実施	●
	2 情報伝達・共有手段の普及		
	3 市町村レベルの医療救護体制の整備		
	4 保健所の保健・医療調整機能の強化		
食品の安全確保対策	1 食中毒防止対策		
	2 HACCP方式の衛生管理の普及		

※ 重点評価欄には実施機関として重点的、または特色ある取組の場合は「◎」、通常業務の中での取組には「●」を記して下さい。

30年度実績

所属名	富士・東部管内愛育連合会	担当部署	
-----	--------------	------	--

項目	内容	平成30年度の取組実績	重点評価
在宅医療の推進	1 在宅での医療を選択できるしくみづくり (退院支援、日常の療養支援、急変時の対応、看取り含む)		
	2 人材育成		
	3 在宅医療に対する普及啓発	声かけ(愛育会の基本)活動の中で在宅医療について伝えた	●
(住所地) 自殺対策の推進	1 普及啓発		
	2 地域の取り組み体制の強化		
	3 連携体制の強化		
	4 人材育成・相談体制の強化		
(ハイリスク地) 自殺対策の推進	1 イメージアップ対策		
	2 水際対策		
	3 連携体制の強化		
	4 見守体制の強化		
(発症予防・重症化予防) 生活習慣病対策の推進	1 早期発見、早期治療の推進及び重症化予防	声かけ活動の中でメタボや糖尿病、歯周病などのことについて話をした	●
	2 発症予防(望ましい生活習慣)の推進		
	3 関係機関との連携体制強化及び協働した取組の推進		
感染症対策の強化	1 新型インフルエンザ等対策(重大感染症対策)		
	2 東京オリンピック・パラリンピック競技大会(東京大会)に向けての感染症対策		
災害時体制整備の医療	1 災害医療体制の現状把握と共有		
	2 情報伝達・共有手段の普及		
	3 市町村レベルの医療救護体制の整備		
	4 保健所の保健・医療調整機能の強化		
食品の安全確保対策	1 食中毒防止対策	役員会の時に家庭でできる食中毒防止対策についてミニ講義を受け、声かけに活用した	●
	2 HACCP方式の衛生管理の普及		

※ 重点評価欄には実施機関として重点的、または特色ある取組の場合は「◎」、通常業務の中での取組には「●」を記して下さい。

所属名	富士・東部管内愛育連合会	担当部署	
-----	--------------	------	--

項目	内容	平成31年度の具体的取組	重点評価
在宅医療の推進	1 在宅での医療を選択できるしくみづくり (退院支援、日常の療養支援、急変時の対応、看取り含む)		
	2 人材育成		
	3 在宅医療に対する普及啓発		
(住所地) 自殺対策の推進	1 普及啓発		
	2 地域の取り組み体制の強化		
	3 連携体制の強化		
	4 人材育成・相談体制の強化		
(ハイリスク地) 自殺対策の推進	1 イメージアップ対策		
	2 水際対策		
	3 連携体制の強化		
	4 見守体制の強化		
(発症予防) 生活習慣病対策の推進	1 早期発見、早期治療の推進及び重症化予防	生活習慣病予防について習った知識を地域の人に伝えていきたい。(愛育班員を通して)	●
	2 発症予防(望ましい生活習慣)の推進		
	3 関係機関との連携体制強化及び協働した取組の推進		
感染症対策の強化	1 新型インフルエンザ等対策(重大感染症対策)		
	2 東京オリンピック・パラリンピック競技大会(東京大会)に向けての感染症対策		
災害時体制の整備	1 災害医療体制の現状把握と共有	災害のことについて講演を聴いたので、防災グッズや非常用袋を備えておくことを伝えたい。(最低5日分の食費、現金5千円位)また、災害伝言ダイヤル171も広めたい	●
	2 情報伝達・共有手段の普及		
	3 市町村レベルの医療救護体制の整備		
	4 保健所の保健・医療調整機能の強化		
食品の安全確保	1 食中毒防止対策		
	2 HACCP方式の衛生管理の普及		

※ 重点評価欄には実施機関として重点的、または特色ある取組の場合は「◎」、通常業務の中での取組には「●」を記して下さい。

「富士・東部地域保健医療行動計画」に基づく 平成30年度取組状況

30年度実績

		所属名	富士・東部保健所管内 食生活改善推進員協議会	担当部署	
項目	内容	平成30年度の取組実績			重点 評価
在宅医療の推進	1 在宅での医療を選択できるしくみづくり (退院支援、日常の療養支援、急変時の対応、看取り含む)				
	2 人材育成				
	3 在宅医療に対する普及啓発				
(住所地) 自殺対策の推進	1 普及啓発				
	2 地域の取り組み体制の強化				
	3 連携体制の強化				
	4 人材育成・相談体制の強化				
(ハイリスク地) 自殺対策の推進	1 イメージアップ対策				
	2 水際対策				
	3 連携体制の強化				
	4 見守体制の強化				
(発症予防・重症化予防) 生活習慣病対策の推進	1 早期発見、早期治療の推進及び重症化予防	・塩分摂取量の低減と啓発を目指し、12市町村それぞれの会員1人あたり3~4件を目標に、みそ汁塩分チェック家庭訪問を実施。あわせて、生活習慣病予防のためのチラシを作成し、説明しながら配付した。 ・各市町村で行うイベント時に提供する食事(豚汁など)を減塩にし、啓発を行った。 ・保健所と協働し、運営委員会時には生活習慣病予防関連のミニ講座を行った。			◎
	2 発症予防(望ましい生活習慣)の推進				
	3 関係機関との連携体制強化及び協働した取組の推進				
感染症対策の強化	1 新型インフルエンザ等対策(重大感染症対策)				
	2 東京オリンピック・パラリンピック競技大会(東京大会)に向けての感染症対策				
災害時体制整備の医療	1 災害医療体制の現状把握と共有				
	2 情報伝達・共有手段の普及				
	3 市町村レベルの医療救護体制の整備				
	4 保健所の保健・医療調整機能の強化				
食品の安全確保対策	1 食中毒防止対策	各市町村で行う料理教室では、食中毒予防の3原則を遵守し、参加者にも伝えた。また、料理は食べきれぬ分を作り、調理後はなるべく早く食べることを会員自らが実践している。			●
	2 HACCP方式の衛生管理の普及	養成講習(新規に会員になるための講習)でHACCPについて学んだ。			

※ 重点評価欄には実施機関として重点的、または特色ある取組の場合は「◎」、通常業務の中での取組には「●」を記して下さい。

		所属名	富士・東部保健所管内 食生活改善推進員協議会	担当部署	
項目	内容	平成31年度の具体的取組			重点 評価
在宅医療の推進	1 在宅での医療を選択できるしくみづくり (退院支援、日常の療養支援、急変時の対応、看取り含む)				
	2 人材育成				
	3 在宅医療に対する普及啓発				
(住所地) 自殺対策の推進	1 普及啓発				
	2 地域の取り組み体制の強化				
	3 連携体制の強化				
	4 人材育成・相談体制の強化				
(ハイリスク地) 自殺対策の推進	1 イメージアップ対策				
	2 水際対策				
	3 連携体制の強化				
	4 見守体制の強化				
(発症予防) 生活習慣病の推進対策	1 早期発見、早期治療の推進及び重症化予防	・塩分摂取量の低減と啓発を目指し、12市町村それぞれの会員1人あたり3~4件を目標に、みそ汁塩分チェック家庭訪問を実施する。みそ汁に加え、スープや煮物についても測定する。 ・保健所と協働し、運営委員会開催時(年間4回)には生活習慣病予防関連のミニ講座を行う。 ・総会時の研修会において、健康寿命延伸について学ぶ。			◎
	2 発症予防(望ましい生活習慣)の推進				
	3 関係機関との連携体制強化及び協働した取組の推進				
感染症対策の強化	1 新型インフルエンザ等対策(重大感染症対策)				
	2 東京オリンピック・パラリンピック競技大会(東京大会)に向けての感染症対策				
災害体制時の医療整備	1 災害医療体制の現状把握と共有	・代表者研修会において、防災についての基礎知識を学び、災害時避難所で活用できるパッキングについて実習を行う。			◎
	2 情報伝達・共有手段の普及				
	3 市町村レベルの医療救護体制の整備				
	4 保健所の保健・医療調整機能の強化				
食品の安全確保対策	1 食中毒防止対策	・各市町村で行う料理教室では、食中毒予防の3原則を遵守する。			●
	2 HACCP方式の衛生管理の普及	・運営委員会ミニ講座で再度HACCPについて学び、各市町村の研修会で伝達する。			

※ 重点評価欄には実施機関として重点的、または特色ある取組の場合は「◎」、通常業務の中での取組には「●」を記して下さい。

「富士・東部地域保健医療行動計画」に基づく 平成30年度取組状況

30年度実績

		所属名	シチズン電子株式会社	担当部署	人事総務部
項目	内容	平成30年度の取組実績			重点評価
在宅医療の推進	1 在宅での医療を選択できるしくみづくり（退院支援、日常の療養支援、急変時の対応、看取り含む）				
	2 人材育成				
	3 在宅医療に対する普及啓発				
（住所地） 自殺対策の推進	1 普及啓発				
	2 地域の取り組み体制の強化				
（住所地） 自殺対策の推進	3 連携体制の強化	<p>【相談体制の強化】</p> <p>産業カウンセラー 月2回来社 ストレスチェックの実施(2018年) 2015年12月から法制化 597名受診・2次S58名・カウンセリング5名</p> <p>ストレスチェックの実施(2017年度) 599名受診・2次S82名・カウンセリング6名</p>			◎
	4 人材育成・相談体制の強化				
（ハイリスク地） 自殺対策の推進	1 イメージアップ対策				
	2 水際対策				
	3 連携体制の強化				
	4 見守体制の強化				
（発症予防・重症化予防） 生活習慣病対策の推進	1 早期発見、早期治療の推進及び重症化予防	<p>○2018年健康診断 人間ドック(希望者・年齢制限有り・医療機関・会社健保負担有り) 380名受診(要精査 50名、精査済 33名) 生活習慣病健診(希望者・年齢制限有り・会社構内・バス検診・40歳以上本人負担無し) 132名受診(要精査 28名、精査済 19名)</p> <p>○2017年健康診断 人間ドック361名受診、生活習慣病健診143名受診</p>			◎
	2 発症予防(望ましい生活習慣)の推進				
	3 関係機関との連携体制強化及び協働した取組の推進				
感染症対策の強化	1 新型インフルエンザ等対策(重大感染症対策)	<p>2018年特定保健指導セミナー 積極的支援・動機付け支援 計 16名</p> <p>2017年特定保健指導セミナー 積極的支援・動機付け支援 計 52名</p> <p>費用は健保負担、6か月間の支援有り</p>			●
	2 東京オリンピック・パラリンピック競技大会(東京大会)に向けての感染症対策				
災害時調整の備医療	1 災害医療体制の現状把握と共有				
	2 情報伝達・共有手段の普及				
	3 市町村レベルの医療救護体制の整備				
	4 保健所の保健・医療調整機能の強化				
全食確品の保の対安策	1 食中毒防止対策				
	2 HACCP方式の衛生管理の普及				

※ 重点評価欄には実施機関として重点的、または特色ある取組の場合は「◎」、通常業務の中での取組には「●」を記して下さい。

所属名	シチズン電子株式会社	担当部署	人事総務部
-----	------------	------	-------

項目	内容	平成31年度の具体的取組	重点評価
在宅医療の推進	1 在宅での医療を選択できるしくみづくり (退院支援、日常の療養支援、急変時の対応、看取り含む)		
	2 人材育成		
	3 在宅医療に対する普及啓発		
(住所地) 自殺対策の推進	1 普及啓発		
	2 地域の取り組み体制の強化		
	3 連携体制の強化		
	4 人材育成・相談体制の強化	ストレスチェックの継続実施	
(ハイリスク地) 自殺対策の推進	1 イメージアップ対策		
	2 水際対策		
	3 連携体制の強化		
	4 見守体制の強化		
(発症予防) 生活習慣病対策の推進	1 早期発見、早期治療の推進及び重症化予防		
	2 発症予防(望ましい生活習慣)の推進	健康診断 人間ドック、生活習慣病健診の継続支援 特定保健指導セミナーの開催	
	3 関係機関との連携体制強化及び協働した取組の推進		
感染症対策の強化	1 新型インフルエンザ等対策(重大感染症対策)	・感染地への海外出張者はインフルエンザ予防接種義務化継続(新型との区別が容易にできるようにするため) ・一般、インフルエンザ予防接種会社補助の継続	
	2 東京オリンピック・パラリンピック競技大会(東京大会)に向けての感染症対策		
災害体制時の医療整備	1 災害医療体制の現状把握と共有		
	2 情報伝達・共有手段の普及		
	3 市町村レベルの医療救護体制の整備		
	4 保健所の保健・医療調整機能の強化		
食品の安全確保対策	1 食中毒防止対策		
	2 HACCP方式の衛生管理の普及		

※ 重点評価欄には実施機関として重点的、または特色ある取組の場合は「◎」、通常業務の中での取組には「●」を記して下さい。

30年度実績

所属名	富士吉田市養護教員研究会	担当部署	
-----	--------------	------	--

項目	内容	平成30年度の取組実績	重点評価
在宅医療の推進	1 在宅での医療を選択できるしくみづくり（退院支援、日常の療養支援、急変時の対応、看取り含む）		
	2 人材育成		
	3 在宅医療に対する普及啓発		
（住所地） 自殺対策の推進	1 普及啓発	・小学校5・6年生では心の発達及び不安、悩みの対応の仕方について、中学校では心身の機能の発達と心の健康について授業を実施した。	●
	2 地域の取り組み体制の強化		
	3 連携体制の強化		
	4 人材育成・相談体制の強化	・富士吉田市教育委員会が行う教育相談等を活用した。	
（ハイリスク地） 自殺対策の推進	1 イメージアップ対策		
	2 水際対策		
	3 連携体制の強化		
	4 見守体制の強化		
（発症予防・重症化予防） 生活習慣病対策の推進	1 早期発見、早期治療の推進及び重症化予防	・小6及び中2を対象に貧血及び脂質検査、空腹時血糖、HbA1C検査を実施した。 ・生活習慣に関するアンケート調査を実施して、児童・生徒の生活実態を把握し、朝食に焦点をあてた保健指導を実践した。 ・富士吉田市健康長寿課と連携をとりながら、朝ごはんの大切さを発信した。	◎
	2 発症予防（望ましい生活習慣）の推進		
	3 関係機関との連携体制強化及び協働した取組の推進		
感染症対策の強化	1 新型インフルエンザ等対策（重大感染症対策）	・学校等欠席者・感染症情報システムを毎日チェックし地域の流行状況の把握に努めた。	●
	2 東京オリンピック・パラリンピック競技大会（東京大会）に向けての感染症対策		
災害体制時 整備の医療	1 災害医療体制の現状把握と共有		
	2 情報伝達・共有手段の普及		
	3 市町村レベルの医療救護体制の整備		
	4 保健所の保健・医療調整機能の強化		
食品の安全確保対策	1 食中毒防止対策		
	2 HACCP方式の衛生管理の普及		

※ 重点評価欄には実施機関として重点的、または特色ある取組の場合は「◎」、通常業務の中での取組には「●」を記して下さい。

所属名	富士吉田市養護教員研究会	担当部署	
-----	--------------	------	--

項目	内容	平成31年度の具体的取組	重点評価
在宅医療の推進	1 在宅での医療を選択できるしくみづくり（退院支援、日常の療養支援、急変時の対応、看取り含む）		
	2 人材育成		
	3 在宅医療に対する普及啓発		
（住所地） 自殺対策の推進	1 普及啓発	・小学校5・6年生では心の発達及び不安、悩みの対応の仕方について、中学校では心身の機能の発達と心の健康について授業を実施する。	●
	2 地域の取り組み体制の強化		
	3 連携体制の強化		
	4 人材育成・相談体制の強化	・富士吉田市教育委員会が行う教育相談等を活用していく。	
（ハイリスク地） 自殺対策の推進	1 イメージアップ対策		
	2 水際対策		
	3 連携体制の強化		
	4 見守体制の強化		
（発症予防） 生活習慣病対策の推進	1 早期発見、早期治療の推進及び重症化予防	・小6及び中2を対象に貧血及び脂質検査、空腹時血糖、HbA1C検査を実施している。 ・よりよい生活習慣をつくるために、睡眠に焦点を当てた健康教育を実施していく。 ・運動会等において、来場者に敷地内での飲酒・喫煙防止を呼びかける。	◎
	2 発症予防（望ましい生活習慣）の推進		
	3 関係機関との連携体制強化及び協働した取組の推進		
の強化 感染症対策	1 新型インフルエンザ等対策（重大感染症対策）	・学校等欠席者・感染症情報システムへの入力を通して、全国や地域の情報収集に努め、発生時にスムーズな対応が取れるようにしている。	●
	2 東京オリンピック・パラリンピック競技大会（東京大会）に向けての感染症対策		
災害体制時の医療 整備	1 災害医療体制の現状把握と共有		
	2 情報伝達・共有手段の普及		
	3 市町村レベルの医療救護体制の整備		
	4 保健所の保健・医療調整機能の強化		
食品の安全確保 対策	1 食中毒防止対策	・手洗い指導を実施していく。	●
	2 HACCP方式の衛生管理の普及		

※ 重点評価欄には実施機関として重点的、または特色ある取組の場合は「◎」、通常業務の中での取組には「●」を記して下さい。

「富士・東部地域保健医療行動計画」に基づく 平成30年度取組状況

30年度実績

所属名	山梨県介護支援専門員協会	担当部署	富士北麓・東部支部
-----	--------------	------	-----------

項目	内容	平成30年度の取組実績	重点評価
在宅医療の推進	1 在宅での医療を選択できるしくみづくり（退院支援、日常の療養支援、急変時の対応、看取り含む）	・「事例を通して医療連携の視点を考える」研修を実施 ・退院時・日常の療養の支援がしっかりと行えるよう、ケアマネージャーの知識と行動力をつける。	●
	2 人材育成	医療連携に関する研修会を実施し、ケアマネージャーの質の向上を図る。（H30年度 2回実施）	◎
	3 在宅医療に対する普及啓発	本人・家族がきちんと考えることができるよう、ケアマネージャーが助言できるように知識・行動力をつける。	●
（住所地） 自殺対策の推進	1 普及啓発 2 地域の取り組み体制の強化 3 連携体制の強化 4 人材育成・相談体制の強化	利用者のみでなく、介護者・家族への配慮を忘れない。	●
（ハイリスク地） 自殺対策の推進	1 イメージアップ対策 2 水際対策 3 連携体制の強化 4 見守体制の強化		
（発症予防・重症化予防） 生活習慣病対策の推進	1 早期発見、早期治療の推進及び重症化予防 2 発症予防（望ましい生活習慣）の推進 3 関係機関との連携体制強化及び協働した取組の推進		
感染症対策の強化	1 新型インフルエンザ等対策（重大感染症対策） 2 東京オリンピック・パラリンピック競技大会（東京大会）に向けての感染症対策		
災害時体制整備の医療	1 災害医療体制の現状把握と共有 2 情報伝達・共有手段の普及 3 市町村レベルの医療救護体制の整備 4 保健所の保健・医療調整機能の強化	災害時の多職種との連携を行う。要介護者の安全確保・避難所の確認等	●
食品の安全確保対策	1 食中毒防止対策 2 HACCP方式の衛生管理の普及		

※ 重点評価欄には実施機関として重点的、または特色ある取組の場合は「◎」、通常業務の中での取組には「●」を記して下さい。

3 1 年度計画

所属名	山梨県介護支援専門員協会	担当部署	富士北麓・東部支部
-----	--------------	------	-----------

項目	内容	平成31年度の具体的取組	重点評価
在宅医療の推進	1 在宅での医療を選択できるしくみづくり（退院支援、日常の療養支援、急変時の対応、看取り含む）	医療連携が行えるよう、ケアマネジメント力の向上をはかる。	●
	2 人材育成	研修会の実施（年2回開催予定）	◎
	3 在宅医療に対する普及啓発	利用者・家族への適切な助言ができるようにする。	●
（住所地） 自殺対策の推進	1 普及啓発	利用者・介護者・家族への配慮	●
	2 地域の取り組み体制の強化		
	3 連携体制の強化		
	4 人材育成・相談体制の強化		
（ハイリスク地） 自殺対策の推進	1 イメージアップ対策		
	2 水際対策		
	3 連携体制の強化		
	4 見守体制の強化		
（発症予防） 生活習慣病対策の推進	1 早期発見、早期治療の推進及び重症化予防		
	2 発症予防（望ましい生活習慣）の推進		
	3 関係機関との連携体制強化及び協働した取組の推進		
感染症対策の強化	1 新型インフルエンザ等対策（重大感染症対策）		
	2 東京オリンピック・パラリンピック競技大会（東京大会）に向けての感染症対策		
災害時体制の整備	1 災害医療体制の現状把握と共有	災害時の他職種連携 日常的な安全確認、避難所の確認等	●
	2 情報伝達・共有手段の普及		
	3 市町村レベルの医療救護体制の整備		
	4 保健所の保健・医療調整機能の強化		
食品の安全確保	1 食中毒防止対策		
	2 HACCP方式の衛生管理の普及		

※ 重点評価欄には実施機関として重点的、または特色ある取組の場合は「◎」、通常業務の中での取組には「●」を記して下さい。

「富士・東部地域保健医療行動計画」に基づく 平成30年度取組状況

30年度実績

		所属名	NPO法人むつみの会	担当部署	
項目	内容	平成30年度の取組実績			重点評価
在宅医療の推進	1 在宅での医療を選択できるしくみづくり (退院支援、日常の療養支援、急変時の対応、看取り含む)				
	2 人材育成				
	3 在宅医療に対する普及啓発				
(住所地) 自殺対策の推進	1 普及啓発 2 地域の取り組み体制の強化 3 連携体制の強化 4 人材育成・相談体制の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・都留市健康づくり推進協議会委員となり、都留市自殺対策推進計画を作成する会議に参加し素案の検討をした (H31・1・29) ・キャンペーンなどへの参加はできなかった 			●
(ハイリスク地) 自殺対策の推進	1 イメージアップ対策 2 水際対策 3 連携体制の強化 4 見守体制の強化				
(発症予防・重症化予防) の推進	1 早期発見、早期治療の推進及び重症化予防 2 発症予防 (望ましい生活習慣) の推進 3 関係機関との連携体制強化及び協働した取組の推進				
感染症対策の強化	1 新型インフルエンザ等対策 (重大感染症対策) 2 東京オリンピック・パラリンピック競技大会 (東京大会) に向けての感染症対策				
災害時医療体制の整備	1 災害医療体制の現状把握と共有 2 情報伝達・共有手段の普及 3 市町村レベルの医療救護体制の整備 4 保健所の保健・医療調整機能の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・障害者に対する災害時の医療体制について共有する機会を設けることができなかった ・お薬台帳の作成に取り組んだ ・災害時の情報伝達、情報共有の方法を施設内にわかりやすく掲示した ・施設利用者に地域で行う訓練の重要性の説明を行い、精神障害者が地域の訓練に参加しにくいという課題があることを確認した 			●
食品の安全確保対策	1 食中毒防止対策				
	2 HACCP方式の衛生管理の普及				

※ 重点評価欄には実施機関として重点的、または特色ある取組の場合は「◎」、通常業務の中での取組には「●」を記して下さい。

「富士・東部地域保健医療行動計画」に基づく **平成31年度の取組計画**

31年度計画

		所属名	NPO法人むつみの会	担当部署	
項目	内容	平成31年度の具体的取組			重点評価
在宅医療の推進	1 在宅での医療を選択できるしくみづくり (退院支援、日常の療養支援、急変時の対応、看取り含む)				
	2 人材育成				
	3 在宅医療に対する普及啓発				
(住所地) 自殺対策の推進	1 普及啓発	<ul style="list-style-type: none"> ・都留市セーフコミュニティ心の健康対策委員会への参加 ・都留市健康づくり推進協議会への参加 ・都留市精神障害者家族会、施設利用者家族への啓発活動(パンフレットの配布等) ・ピアサポーター、障がい当事者といっしょにキャンペーンなどでのパンフレットの配布の手伝いができることを伝え行えるとよい 			●
	2 地域の取り組み体制の強化				
	3 連携体制の強化				
	4 人材育成・相談体制の強化				
(ハイリスク地) 自殺対策の推進	1 イメージアップ対策				
	2 水際対策				
	3 連携体制の強化				
	4 見守体制の強化				
(発症予防) 生活習慣病対策の推進	1 早期発見、早期治療の推進及び重症化予防				
	2 発症予防(望ましい生活習慣)の推進				
	3 関係機関との連携体制強化及び協働した取組の推進				
感染症対策の強化	1 新型インフルエンザ等対策(重大感染症対策)				
	2 東京オリンピック・パラリンピック競技大会(東京大会)に向けての感染症対策				
災害時体制の整備医療	1 災害医療体制の現状把握と共有	<ul style="list-style-type: none"> ・市の防災訓練への障害者参加の現状を把握する ・障害者にもわかりやすい災害の勉強会を、市の防災担当者にお願いし開く(情報伝達、共有手段等も含む) 			◎
	2 情報伝達・共有手段の普及				
	3 市町村レベルの医療救護体制の整備				
	4 保健所の保健・医療調整機能の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・市内の地区関係なく防災訓練参加の声かけをしてもらい、参加の機会を得る 			
食品の安全確保対策	1 食中毒防止対策				
	2 HACCP方式の衛生管理の普及				

※ 重点評価欄には実施機関として重点的、または特色ある取組の場合は「◎」、通常業務の中での取組には「●」を記して下さい。